

人権・同和問題に関する市民意識調査
調査結果 報告書

2026（令和8）年3月

日向市

目次

I. 調査の概要

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2. 調査の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3. 調査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4. 調査の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 5. 調査票の回収率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 6. 留意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II. 調査の結果

- 1. 人権意識についての社会評価・・・・・・・・・・・・・・ 4～10
- 2. 人権施策についての社会評価・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3. 同和問題の認知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12～14
- 4. 同和問題に対する意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～19
- 5. 社会啓発の実態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20～25
- 6. 同和対策事業の評価と今後の取組・・・・・・・・・・・・ 26～27
- 7. 今後の啓発活動について・・・・・・・・・・・・・・ 28～29
- 8. 自由意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30～31

III. 今後の施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

I. 調査の概要

1. 調査の目的

前回調査（2020（令和2）年11月）から5年が経過することから、社会情勢の変化に伴う市民の意識やニーズ、現状の課題を把握し、人権教育・啓発活動、相談支援など、施策の推進に活かすことを目的として本調査を実施した。

2. 調査の対象

日向市に居住する満18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）

3. 調査の方法

調査票の配布：郵送

調査票の回収：郵送またはインターネット

4. 調査の期間

2025（令和7）年8月27日～9月19日

5. 調査票の回収率

31.8%（配布：2,000通、回収：635通）

※うち、郵送：422通（21.1%）、インターネット：213通（10.7%）

（回収状況）

回答事項	割合 標本数	到達 標本数	不到達 標本数	有効回収 標本数	割合標本数に 対する回収率%	到達標本数に 対する回収率%
総数	2,000	1,993	7	635	31.8	31.9
女性	1,063	1,059	4	379	35.7	35.8
男性	937	934	3	243	25.9	26.0
年代・性別不明	-	-	-	13	-	-

（性別・年齢別の内訳）

	18歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳以上		合計		性別 年代 不明	総数
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性		
発送数	109	115	113	112	161	167	149	151	531	392	1,063	937	-	2,000
有効標本数	30	20	39	22	61	44	54	25	195	132	379	243	13	635
回収率%	27.5	17.4	34.5	19.6	37.9	26.3	36.2	16.6	36.7	33.7	35.7	25.9		31.8

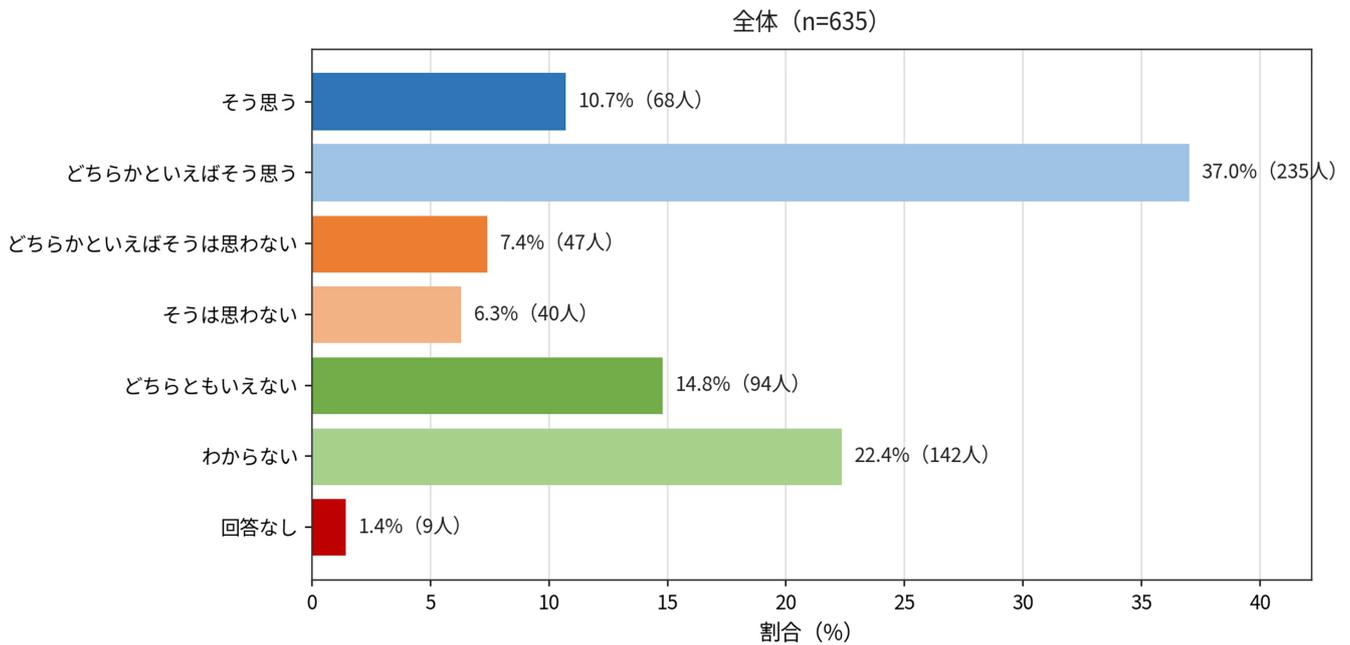
6. 留意事項

- ・各設問の集計母数（回答者数）は「n=」で示しています。
- ・Ⅱ. 調査の結果では、18歳～29歳を20歳代以下、30歳～39歳を30歳代、40歳～49歳を40歳代、50歳～59歳を50歳代、60歳以上は60歳代以上と表記しています。
- ・百分率は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示しているため、単一回答の回答比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問は、回答比率の合計が100.0%を上回る場合があります。
- ・質問6では、2025年の調査から「守られていない」の回答項目を追加しています。
- ・質問7では、2025年の調査から「ある程度平等になっている」と「あまり平等になっていない」の回答項目を追加しています。
- ・質問14（1）では、2025年の調査から「つきあいはこれまでどおり変わらないが、いろいろ気をつける」の回答項目を「同和地区出身の人であることを意識して、これまでどおりつきあっていく」に変更しています。
- ・質問14（3）では、2025年の調査から「問題にしない」の回答項目を「子どもの意思を尊重する」に、「場合によっては結婚させてもよい」の回答項目を「反対するが、子どもの意思が強ければ認める」に、「自分がかまわないが、親類や世間のでまえがあるので結婚させない」の回答項目を「家族の者や親戚の反対があれば結婚を認めない」に、「どうしても結婚させない」の回答項目を「結婚を認めない」に変更しています。
- ・質問14（4）では、2025年の調査から「場合によっては結婚してもよい」の回答項目を除いています。

II. 調査の結果

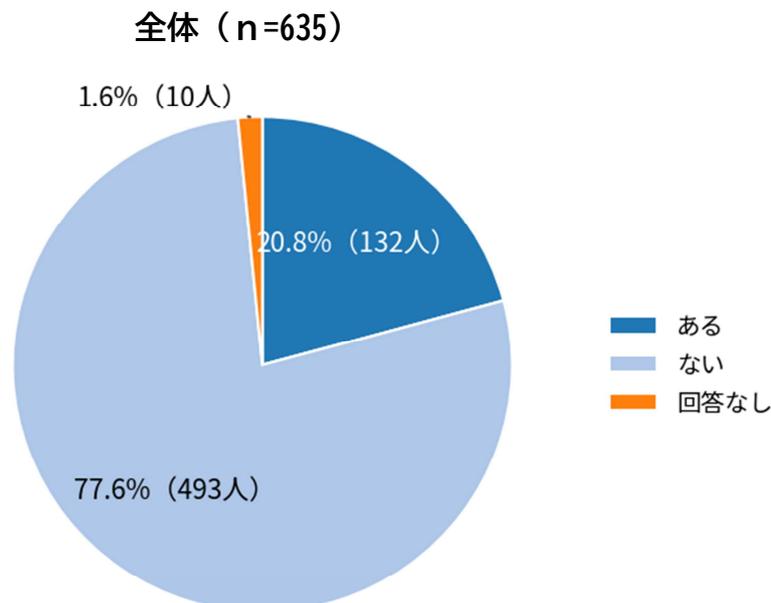
1. 人権意識についての社会評価

質問1 あなたは、今の日向市は「人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。

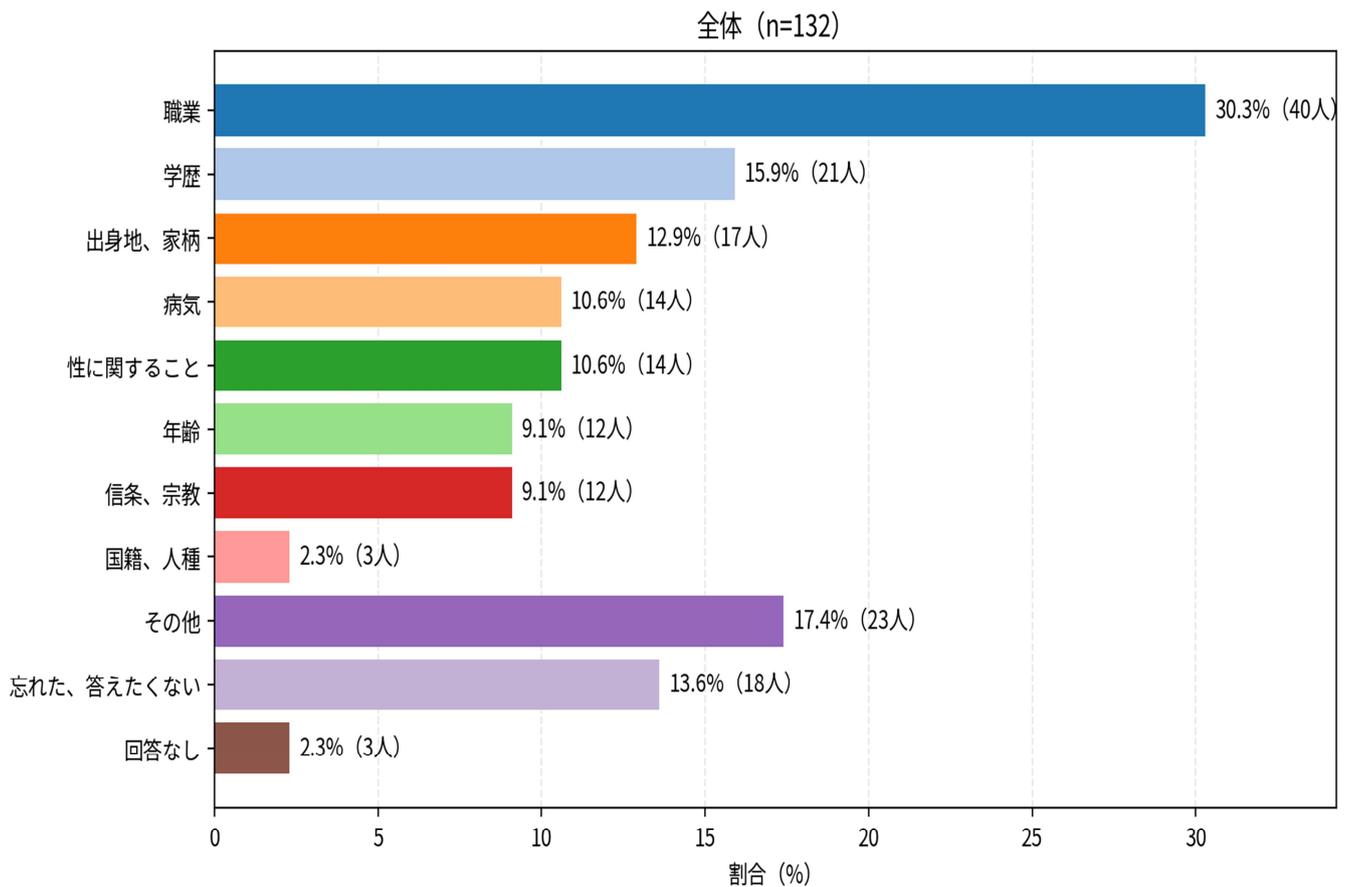


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
そう思う	7	7	5	8	41	0	68
どちらかといえばそう思う	18	27	36	35	119	0	235
どちらかといえばそうは思わない	3	0	3	10	31	0	47
そうは思わない	3	2	9	5	21	0	40
どちらともいえない	5	10	22	8	49	0	94
わからない	14	16	31	14	66	1	142
回答なし	0	0	0	0	4	5	9
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

質問2 あなたは、ご自分の人権が侵害されたと思ったことはありますか。

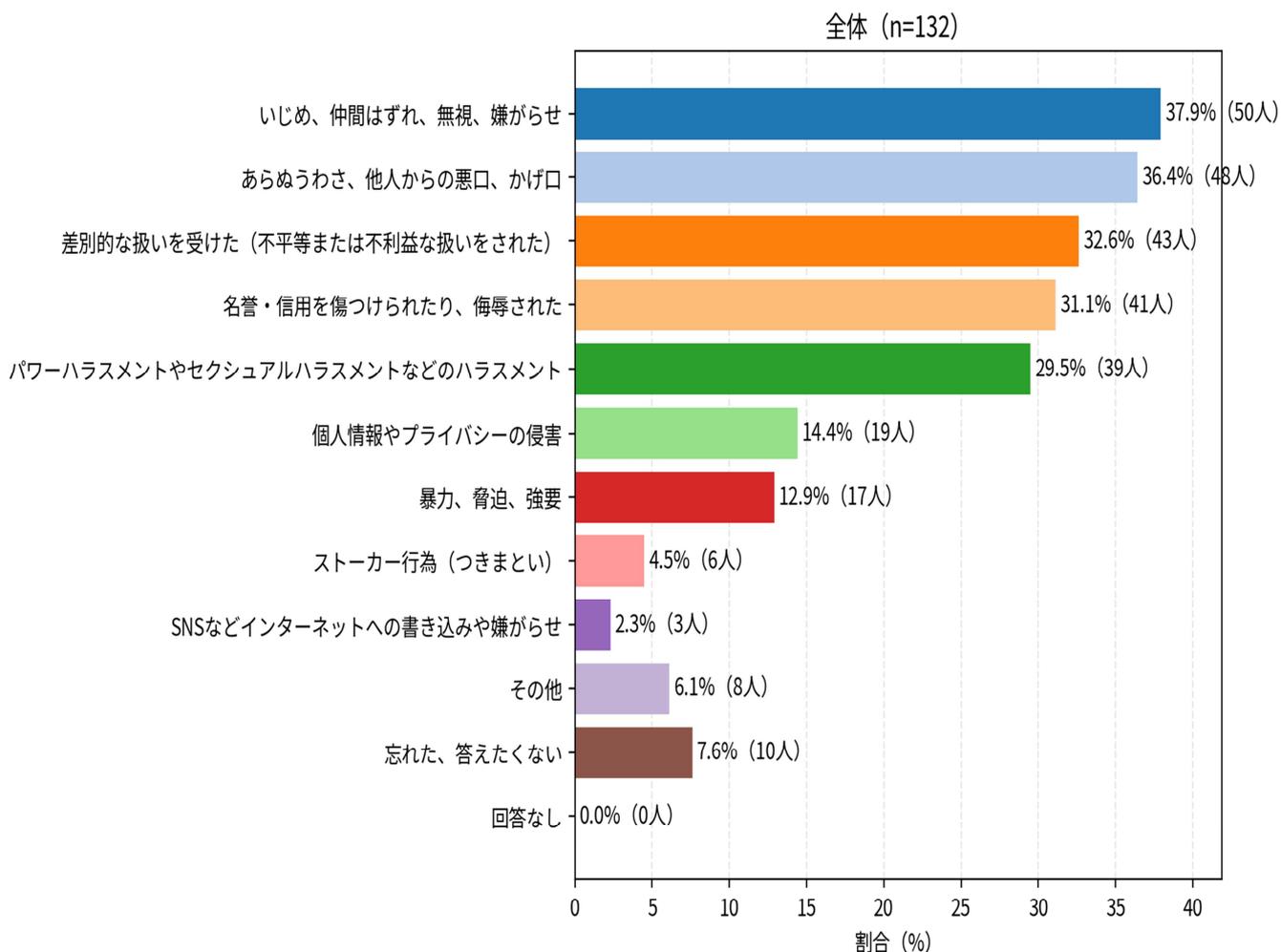


質問3 あなたは、どのような理由から人権侵害を受けましたか（この質問では〇はいくつでも結構です）。



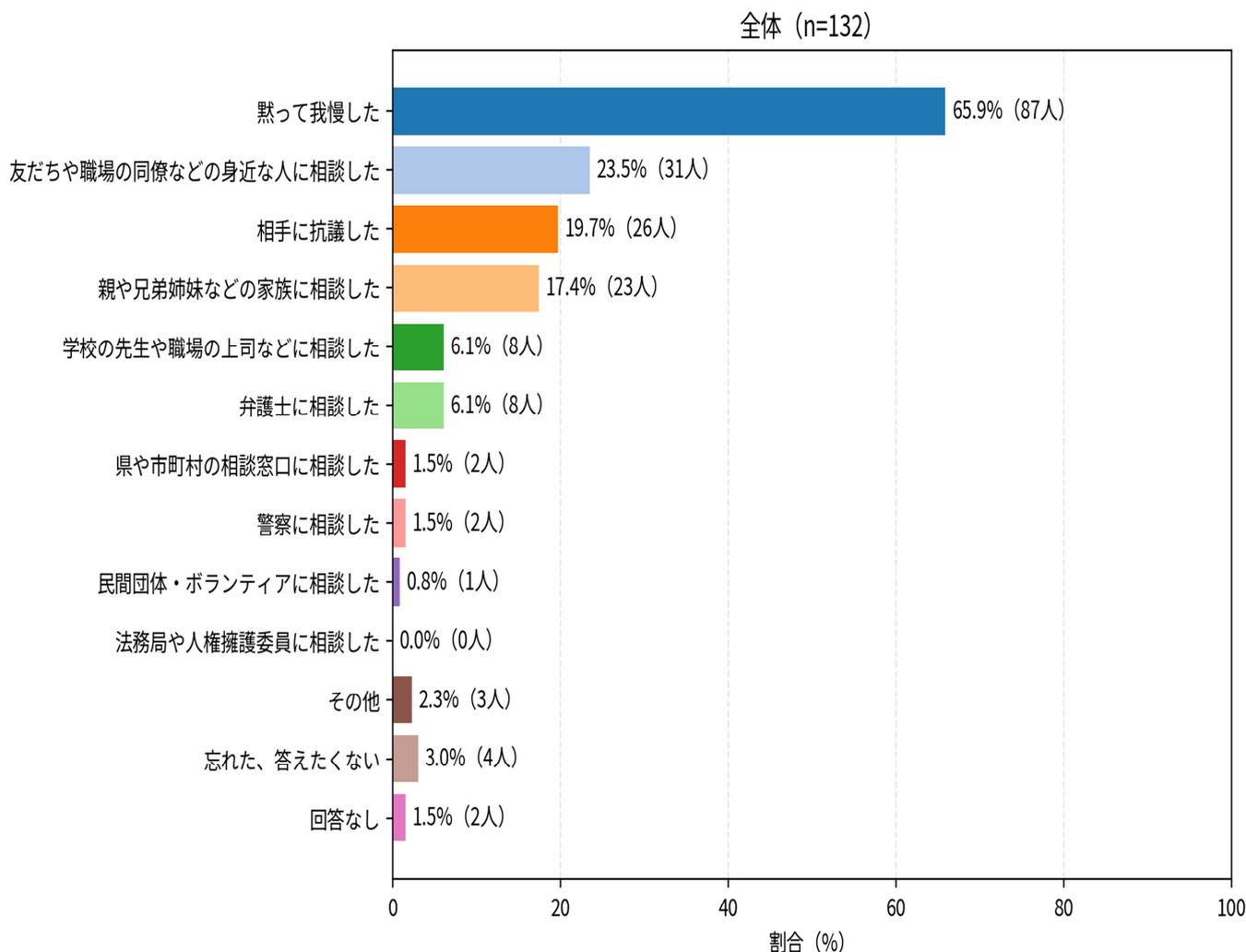
回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
職業	2	3	12	6	17	0	40
学歴	0	0	6	5	10	0	21
出身地、家柄	0	0	5	3	9	0	17
病気	0	1	4	3	6	0	14
性に関すること	1	3	3	4	3	0	14
年齢	0	1	4	3	4	0	12
信条、宗教	0	2	1	0	9	0	12
国籍、人権	0	3	0	0	0	0	3
その他	0	1	1	3	18	0	23
忘れた、答えたくない	2	3	5	1	7	0	18
回答なし	0	0	0	0	3	0	3
回答者数(n)	5	12	26	19	70	0	132

質問4 あなたが受けた人権侵害の内容はどのようなものでしたか（この質問では○はいくつでも結構です）。



回答区分（人数）	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
いじめ、仲間はずれ、無視、嫌がらせ	3	5	11	9	22	0	50
あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口	2	4	10	10	22	0	48
差別的な扱いを受けた （不平等または不利益な扱いをされた）	2	2	8	5	26	0	43
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	1	3	9	4	24	0	41
パワーハラスメントやセクシュアル ハラスメントなどのハラスメント	0	4	14	6	15	0	39
個人情報やプライバシーの侵害	0	0	7	3	9	0	19
暴力、脅迫、強要	1	2	7	0	7	0	17
ストーカー行為（つきまとい）	0	1	1	2	2	0	6
SNSなどのインターネットへの 書き込みや嫌がらせ	0	0	1	1	1	0	3
その他	0	2	2	0	4	0	8
忘れた、答えたくない	0	1	2	1	6	0	10
回答なし	0	0	0	0	0	0	0
回答者数(n)	5	12	26	19	70	0	132

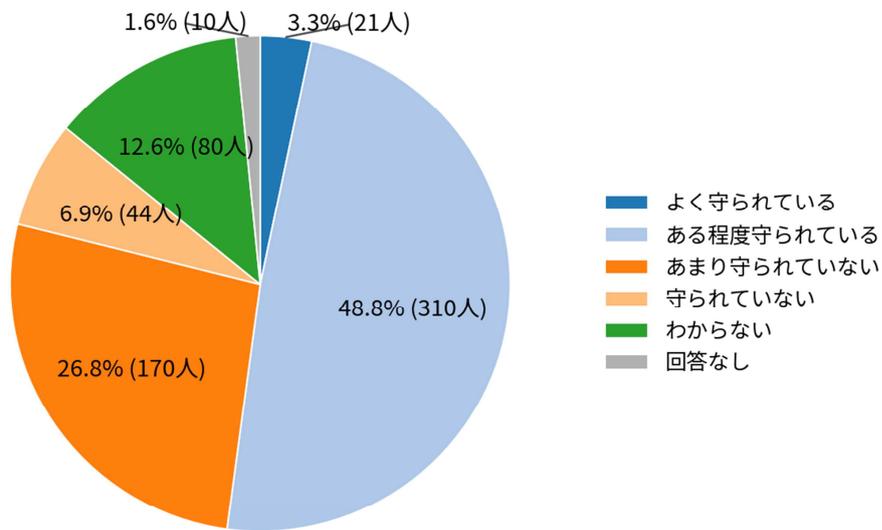
質問5 あなたは、人権侵害を受けた時どのようにしましたか（この質問では○はいくつでも結構です）。



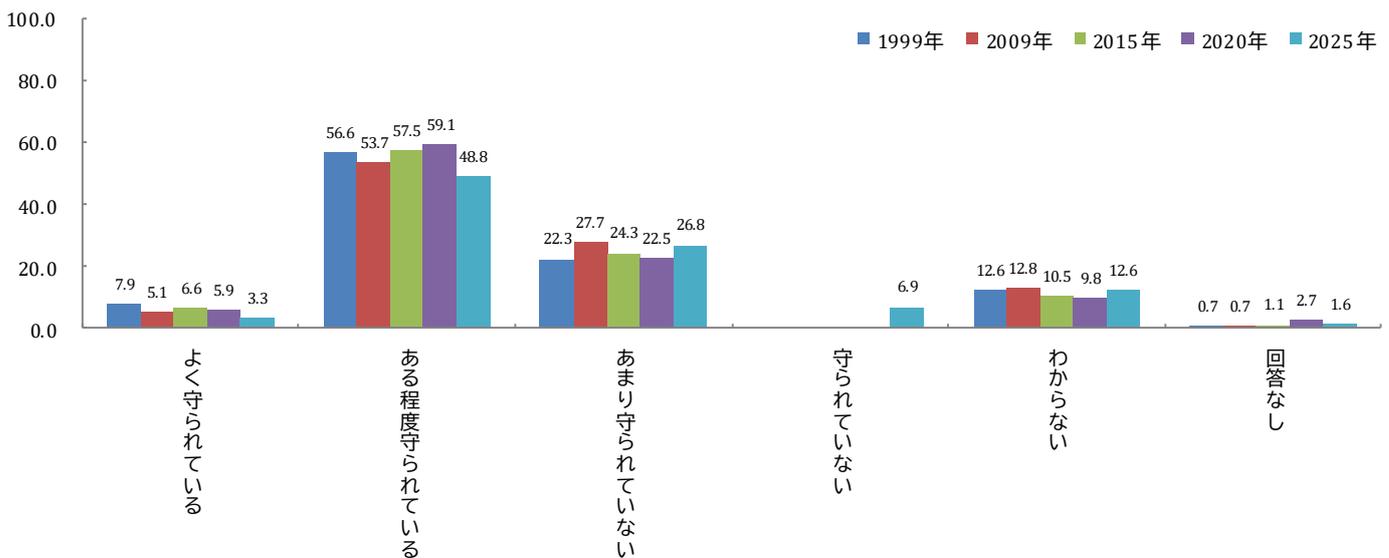
回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
黙って我慢した	3	10	15	15	44	0	87
友だちや職場の同僚などの身近な人に相談した	1	3	11	3	13	0	31
相手に抗議した	0	1	5	3	17	0	26
親や兄弟姉妹などの家族に相談した	1	5	7	2	8	0	23
学校の先生や職場の上司などに相談した	1	1	3	2	1	0	8
弁護士に相談した	0	0	2	2	4	0	8
県や市町村の相談窓口相談した	0	0	1	1	0	0	2
警察に相談した	0	0	1	1	0	0	2
民間団体・ボランティアに相談した	0	0	0	0	1	0	1
法務局や人権擁護委員に相談した	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	3	0	3
忘れた、答えたくない	1	0	1	0	2	0	4
回答なし	0	0	0	0	2	0	2
回答者数(n)	5	12	26	19	70	0	132

質問6 人は法の下に平等であり、生まれや職業などによって差別されないことになっていますが、世間ではどの程度守られていると思いますか。

全体 (n=635)

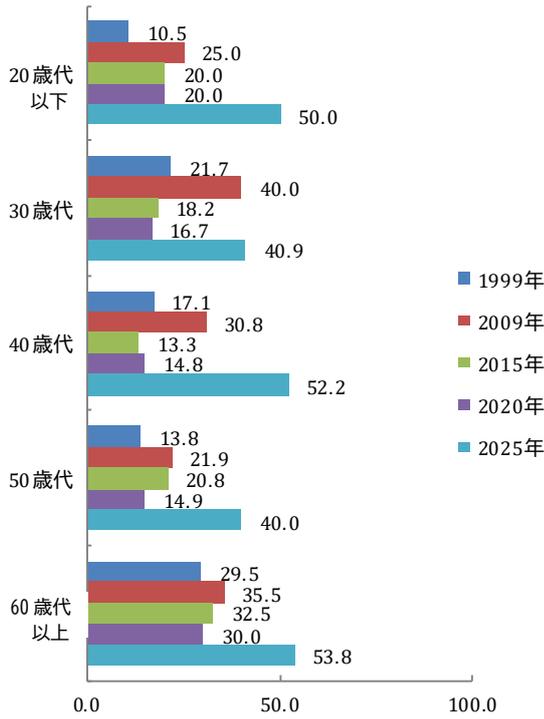


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
よく守られている	3	1	4	1	12	0	21
ある程度守られている	22	32	48	43	163	2	310
あまり守られていない	13	16	30	24	86	1	170
守られていない	3	6	11	7	17	0	44
わからない	9	7	13	5	46	0	80
回答なし	0	0	0	0	7	3	10
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

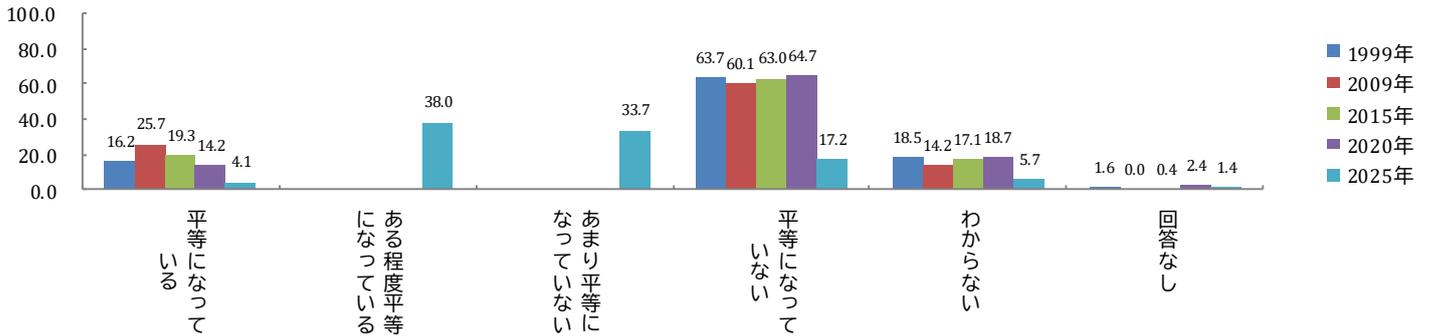
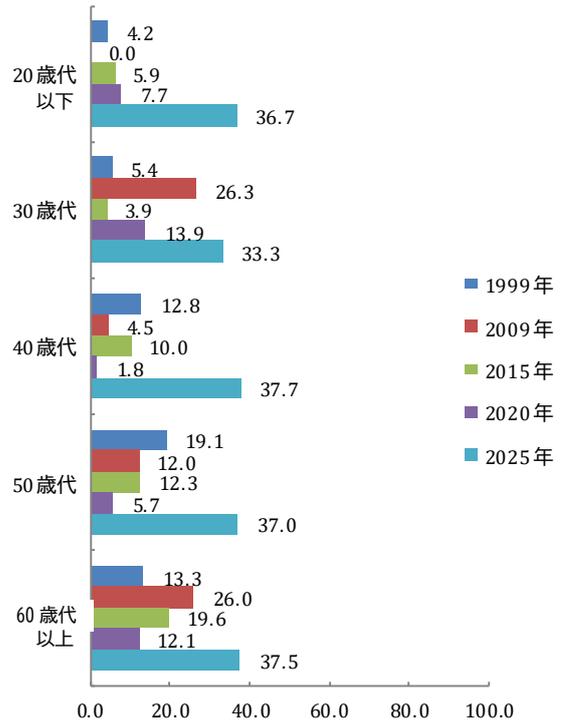


質問7 あなたは男女の社会的地位が平等になっていると思いますか。

(平等になっている+ある程度平等になっている)男性

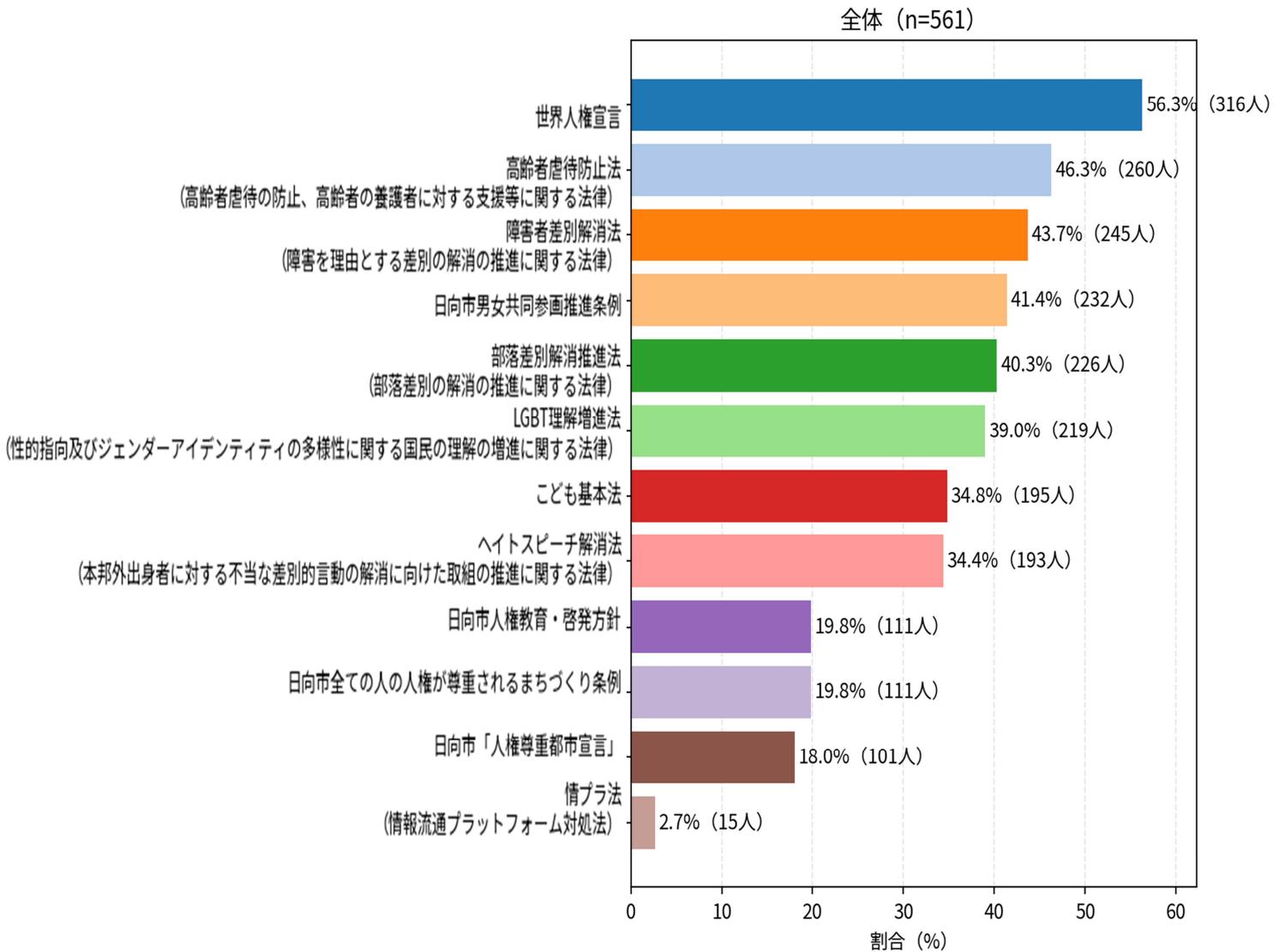


(平等になっている+ある程度平等になっている)女性



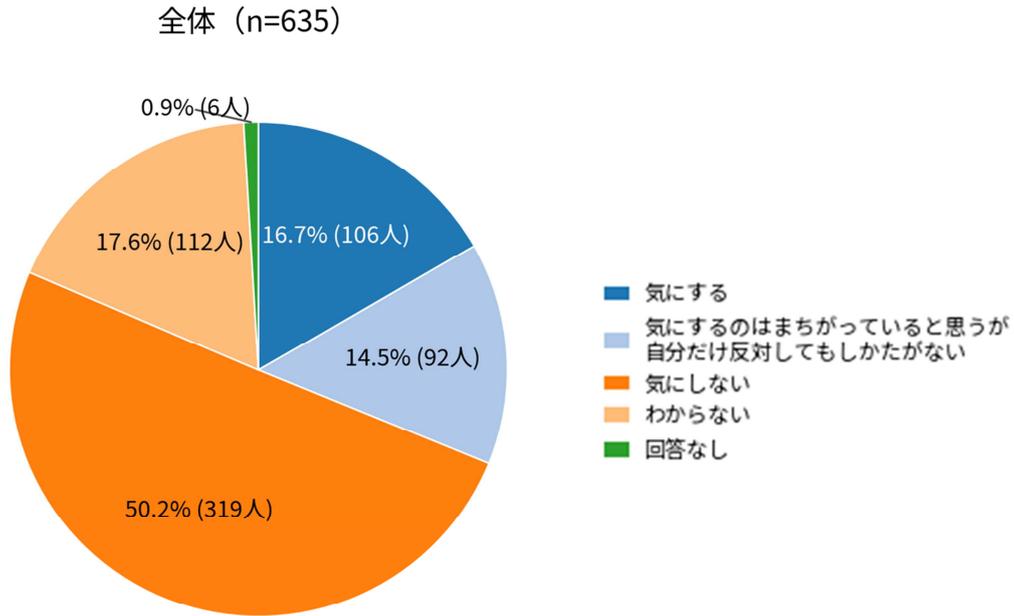
回答事項	総数	平等になっている		ある程度平等になっている		あまり平等になっていない		平等になっていない		わからない		回答なし		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
性別 男	20歳代以下	20	2	10.0	8	40.0	5	25.0	3	15.0	2	10.0	0	0.0
	30歳代	22	0	0.0	9	40.9	7	31.8	4	18.2	2	9.1	0	0.0
	40歳代	44	2	4.5	21	47.7	12	27.3	7	15.9	2	4.5	0	0.0
	50歳代	25	1	4.0	9	36.0	8	32.0	6	24.0	1	4.0	0	0.0
	60歳代以上	132	10	7.6	61	46.2	39	29.5	12	9.1	6	4.5	4	3.0
	年代不明	0	0		0		0		0		0		0	
	計	243	15	6.2	108	44.4	71	29.2	32	13.2	13	5.3	4	1.6
性別 女	20歳代以下	30	2	6.7	9	30.0	8	26.7	9	30.0	2	6.7	0	0.0
	30歳代	39	0	0.0	13	33.3	19	48.7	5	12.8	2	5.1	0	0.0
	40歳代	61	1	1.6	22	36.1	24	39.3	11	18.0	3	4.9	0	0.0
	50歳代	54	2	3.7	18	33.3	25	46.3	8	14.8	1	1.9	0	0.0
	60歳代以上	195	6	3.1	67	34.4	66	33.8	41	21.0	14	7.2	1	0.5
	年代不明	0	0		0		0		0		0		0	
	計	379	11	2.9	129	34.0	142	37.5	74	19.5	22	5.8	1	0.3
合計	622	26	4.2	237	38.1	213	34.2	106	17.0	35	5.6	5	0.8	
性別不明	13	0	0.0	4	30.8	1	7.7	3	23.1	1	7.7	4	30.8	
総数	635	26	4.1	241	38.0	214	33.7	109	17.2	36	5.7	9	1.4	

質問8 人権に関することがらで、これまであなたが見たり聞いたりしたことのあるものを次の中からあげてください（この質問では○はいくつでも結構です）。

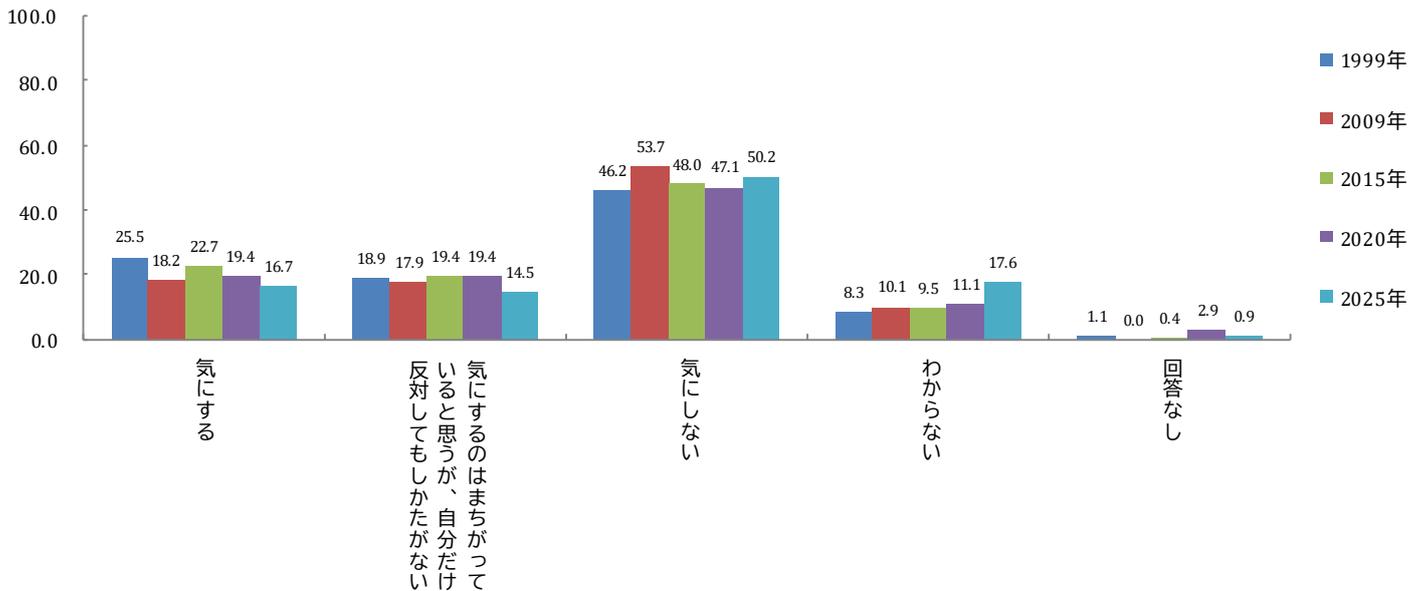


2. 人権施策についての社会評価

質問9 あなたやご家族が結婚する場合、相手方の家柄や血筋を気にしますか。

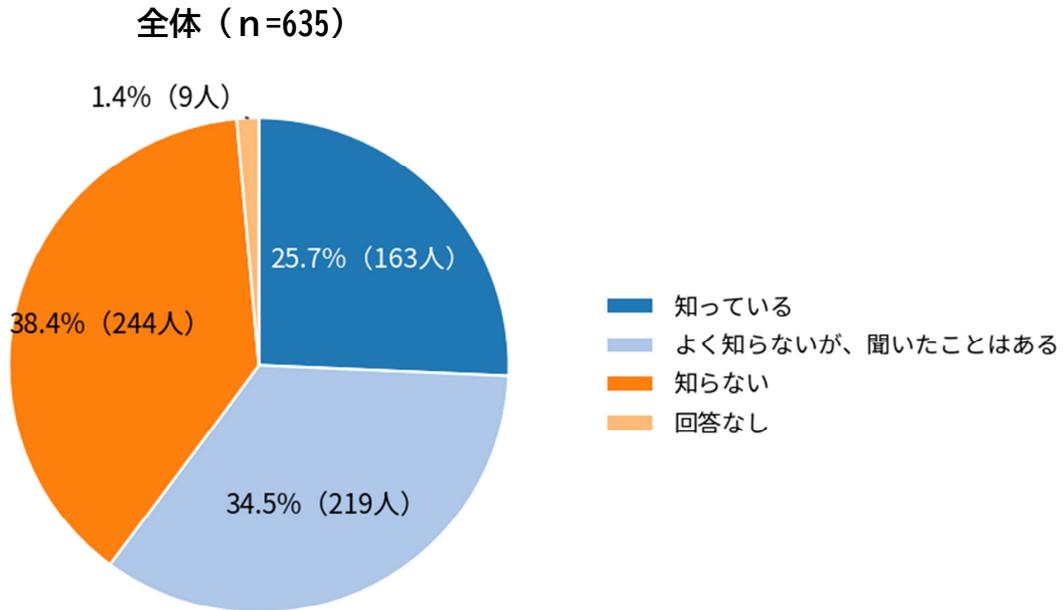


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
気にする	7	12	15	15	55	2	106
気にするのはまちがっていると思うが、自分だけ反対してもしかたがない	7	4	11	6	64	0	92
気にしない	27	38	58	40	155	1	319
わからない	9	8	22	19	54	0	112
回答なし	0	0	0	0	3	3	6
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

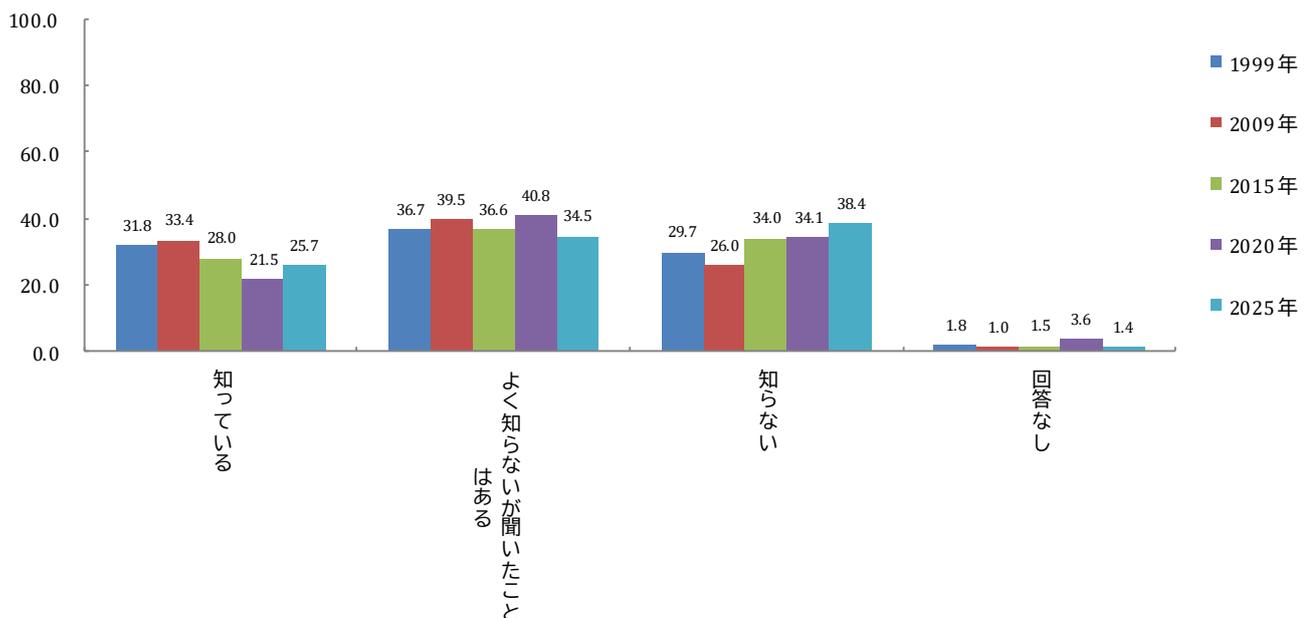


3. 同和問題の認知

質問 10 日向市に「同和地区」・「被差別部落」などによばれ、差別を受けてきた地区があり、「同和問題」・「部落問題」・「部落差別」といわれる問題があることを知っていますか。

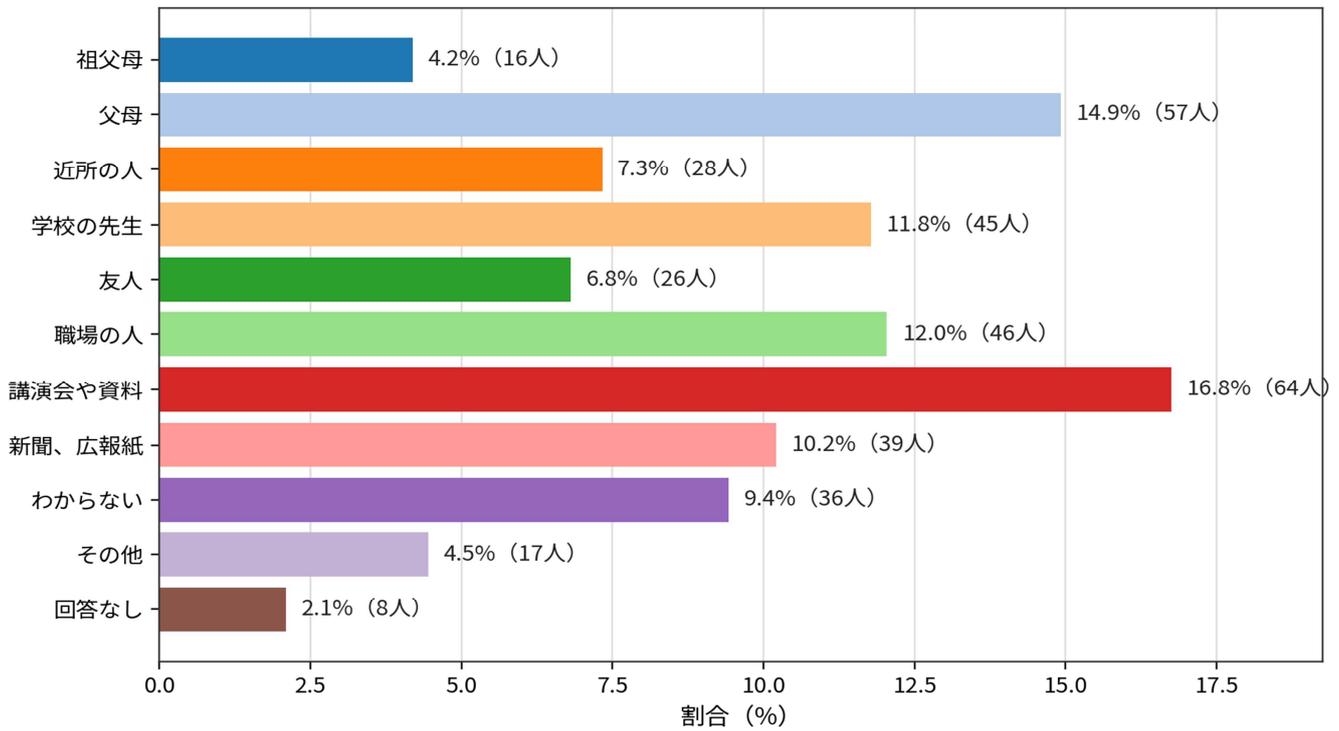


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
知っている	6	17	20	15	105	0	163
よく知らないが聞いたことはある	3	10	37	33	134	2	219
知らない	41	35	49	32	86	1	244
回答なし	0	0	0	0	6	3	9
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

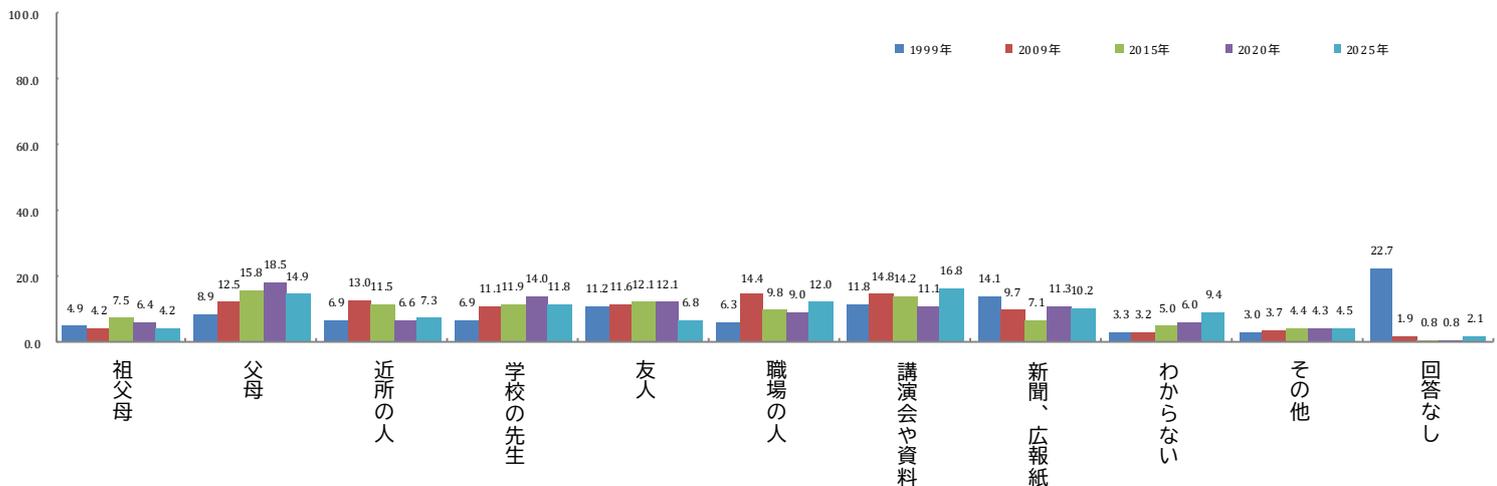


質問 11 それをはじめて聞いたのはだれからですか。 ※注（質問 10 でア、イにお答えになった方だけお答えください）

全体 (n=382)

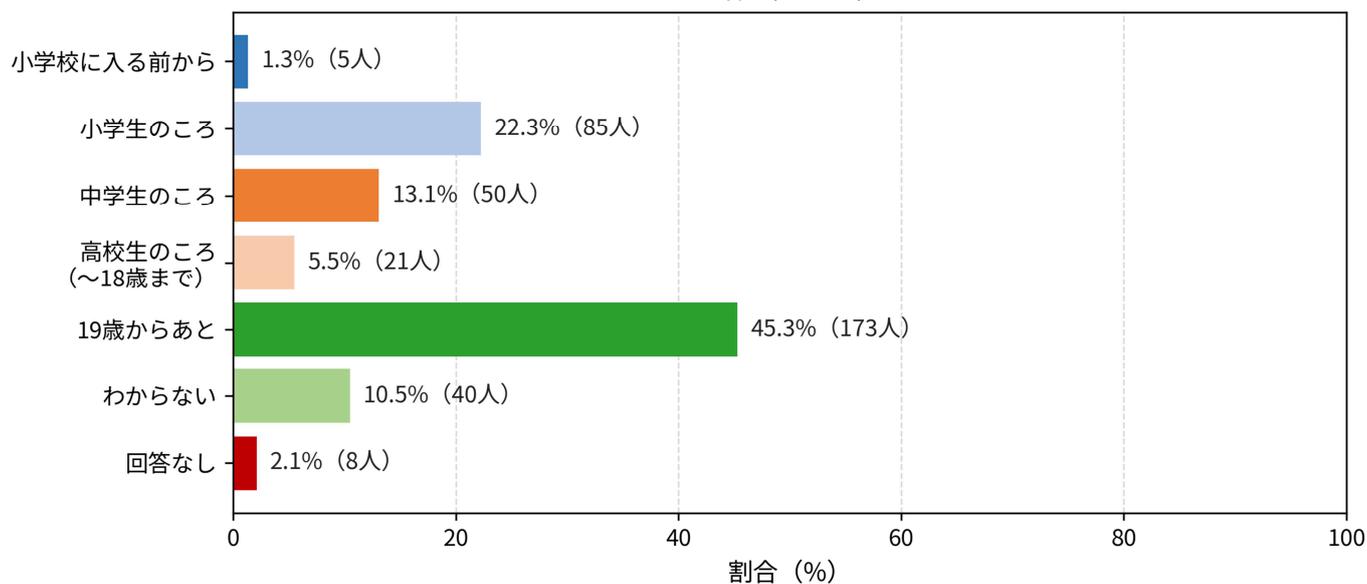


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
祖父母	1	0	2	2	11	0	16
父母	1	5	7	13	30	1	57
近所の人	0	1	1	2	24	0	28
学校の先生	1	6	13	9	15	1	45
友人	0	0	0	3	23	0	26
職場の人	1	3	7	7	28	0	46
講演会や資料	2	5	9	3	45	0	64
新聞、広報紙	1	1	6	3	28	0	39
わからない	2	5	10	3	16	0	36
その他	0	1	2	2	12	0	17
回答なし	0	0	0	1	7	0	8
回答者数(n)	9	27	57	48	239	2	382

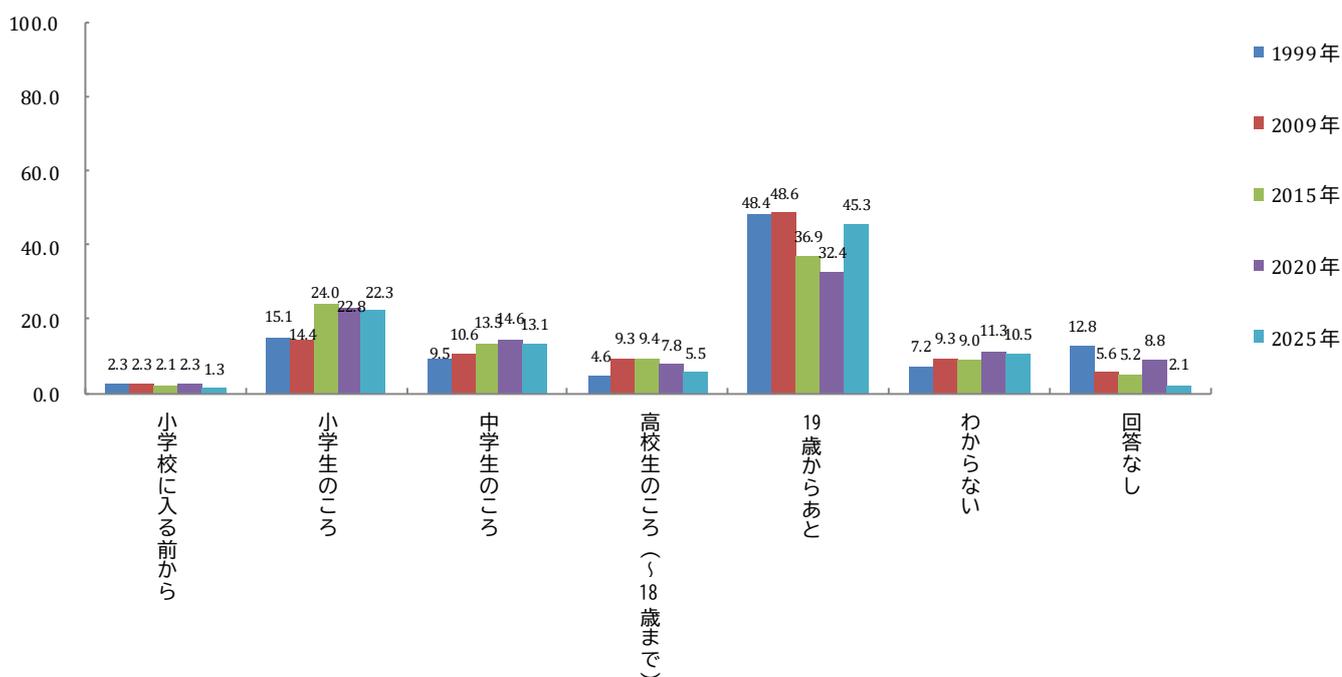


質問 12 はじめて知ったのはいつごろですか。 ※注（質問 10 でア、イにお答えになった方だけお答えください）

全体 (n=382)

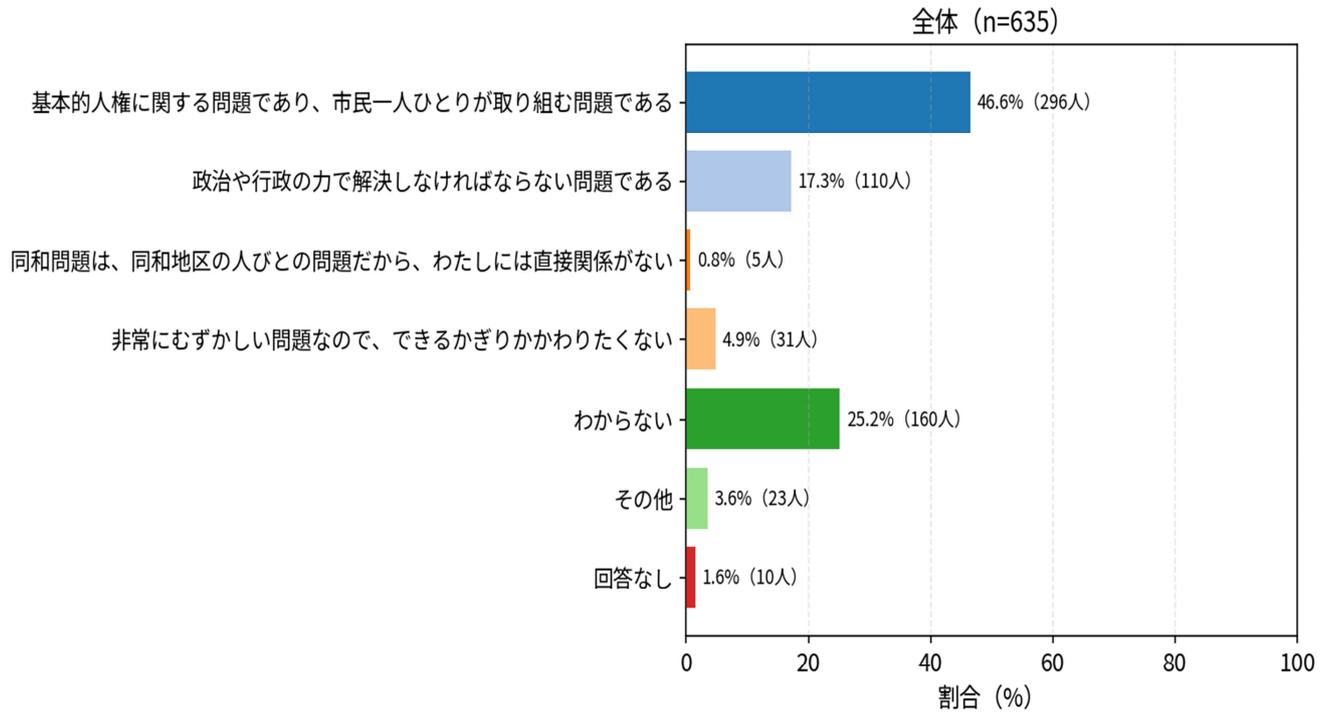


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
小学校に入る前から	0	0	1	0	4	0	5
小学生のころ	2	8	19	20	34	2	85
中学生のころ	1	1	6	8	34	0	50
高校生のころ (~18歳まで)	1	2	1	4	13	0	21
19歳からあと	3	13	22	13	122	0	173
わからない	2	3	8	2	25	0	40
回答なし	0	0	0	1	7	0	8
回答者数(n)	9	27	57	48	239	2	382

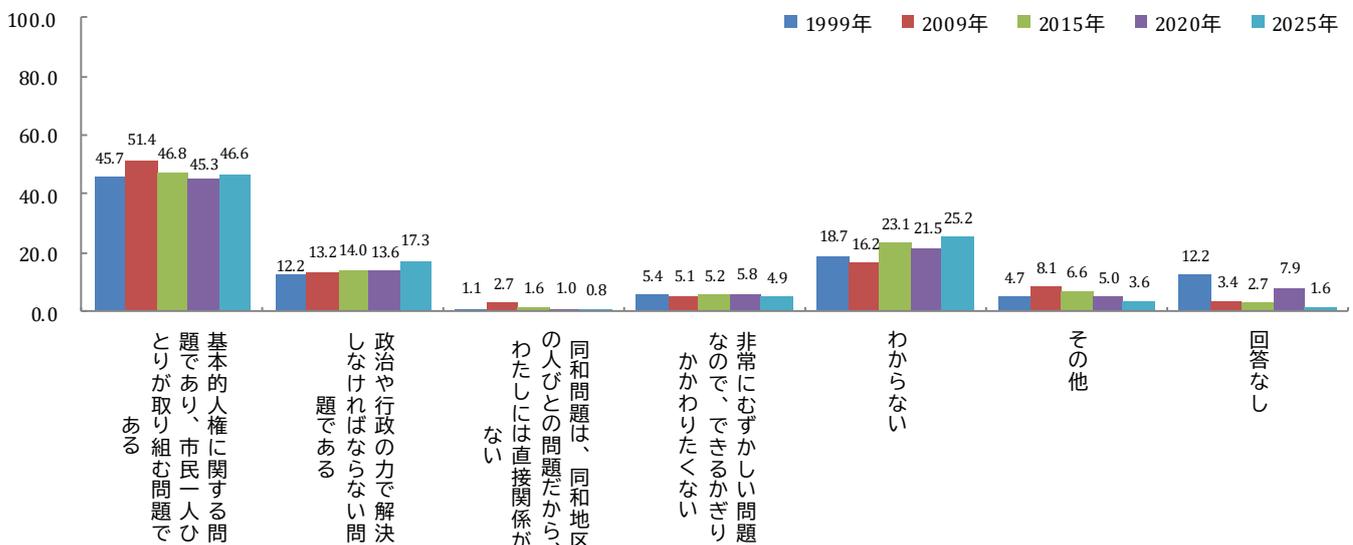


4. 同和問題に対する意識

質問 13 同和地区や同和問題について、あなたはどのように考えますか。

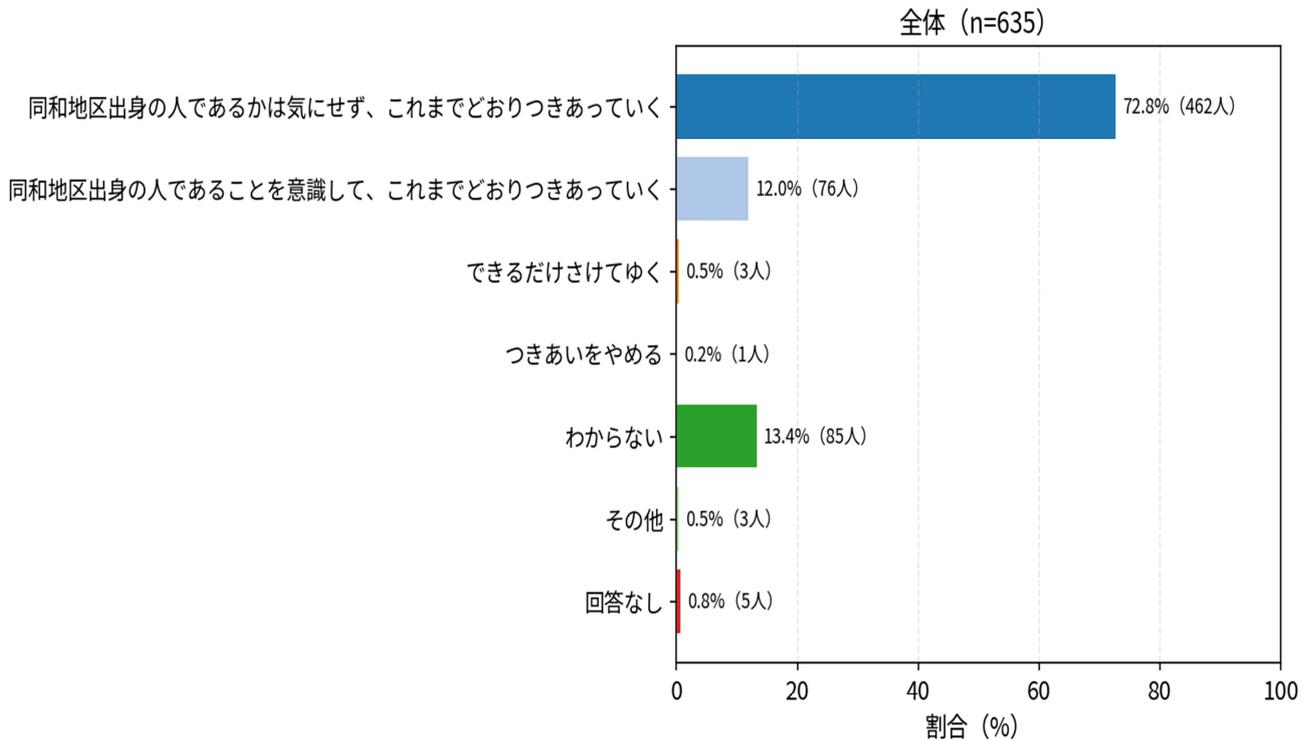


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
基本的人権に関する問題であり、市民一人ひとりが取り組む問題である	21	32	54	33	154	2	296
政治や行政の力で解決しなければならない問題である	10	8	18	17	56	1	110
同和問題は、同和地区の人びとの問題だから、わたしには直接関係がない	0	1	0	1	3	0	5
非常にむずかしい問題なので、できるかぎりかわりたくない	2	2	3	4	20	0	31
わからない	16	16	26	21	81	0	160
その他	1	3	4	4	11	0	23
回答なし	0	0	1	0	6	3	10
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

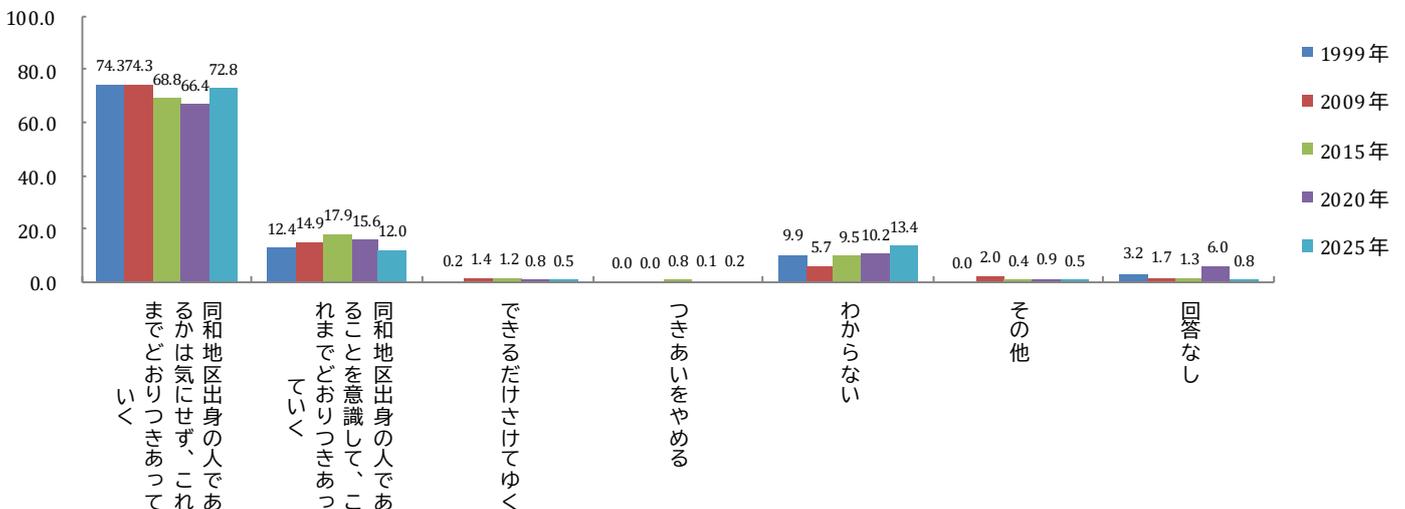


質問 14 あなたは次のような場合どうされますか。

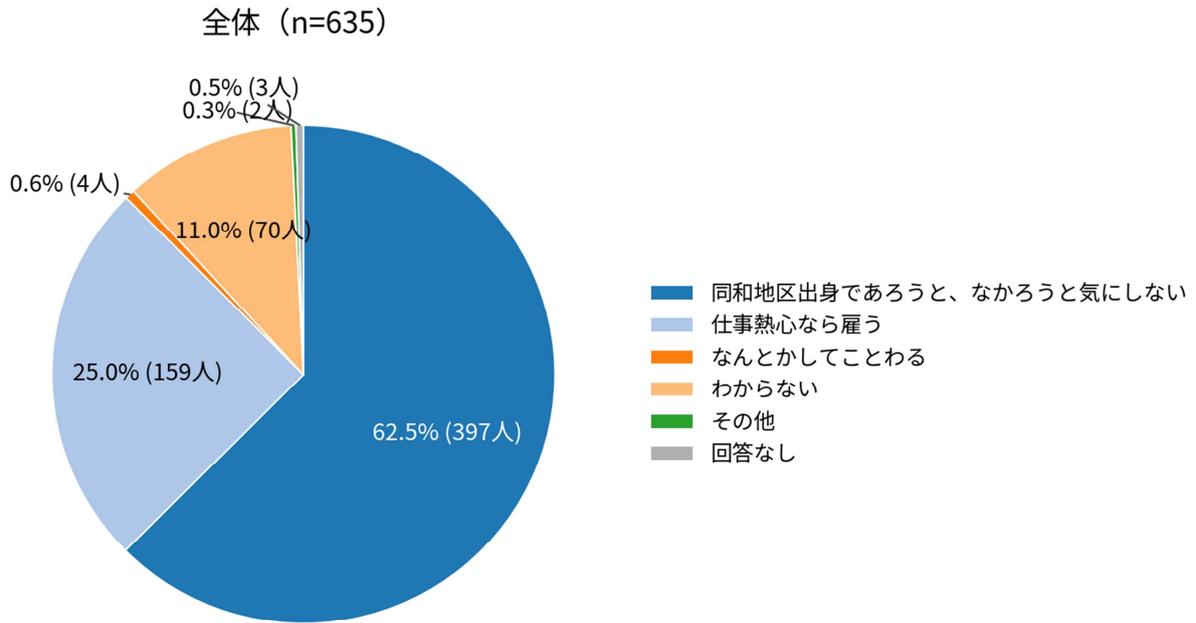
(1) ふだんつきあっている人が同和地区出身の人であることがわかったとき。



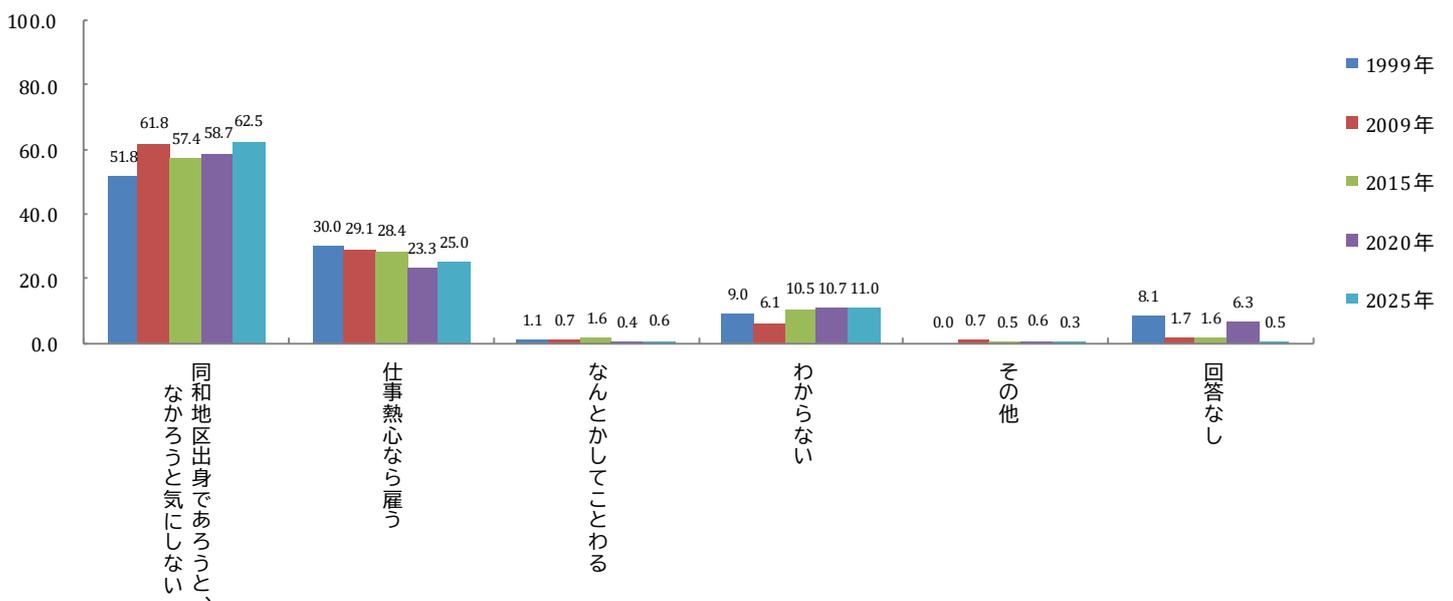
回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
同和地区出身の人であるかは気にせず、これまでどおりつきあっていく	31	52	80	62	236	1	462
同和地区出身の人であることを意識して、これまでどおりつきあっていく	5	3	11	9	47	1	76
できるだけさけてゆく	0	0	0	0	3	0	3
つきあいをやめる	1	0	0	0	0	0	1
わからない	13	7	14	9	41	1	85
その他	0	0	1	0	2	0	3
回答なし	0	0	0	0	2	3	5
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635



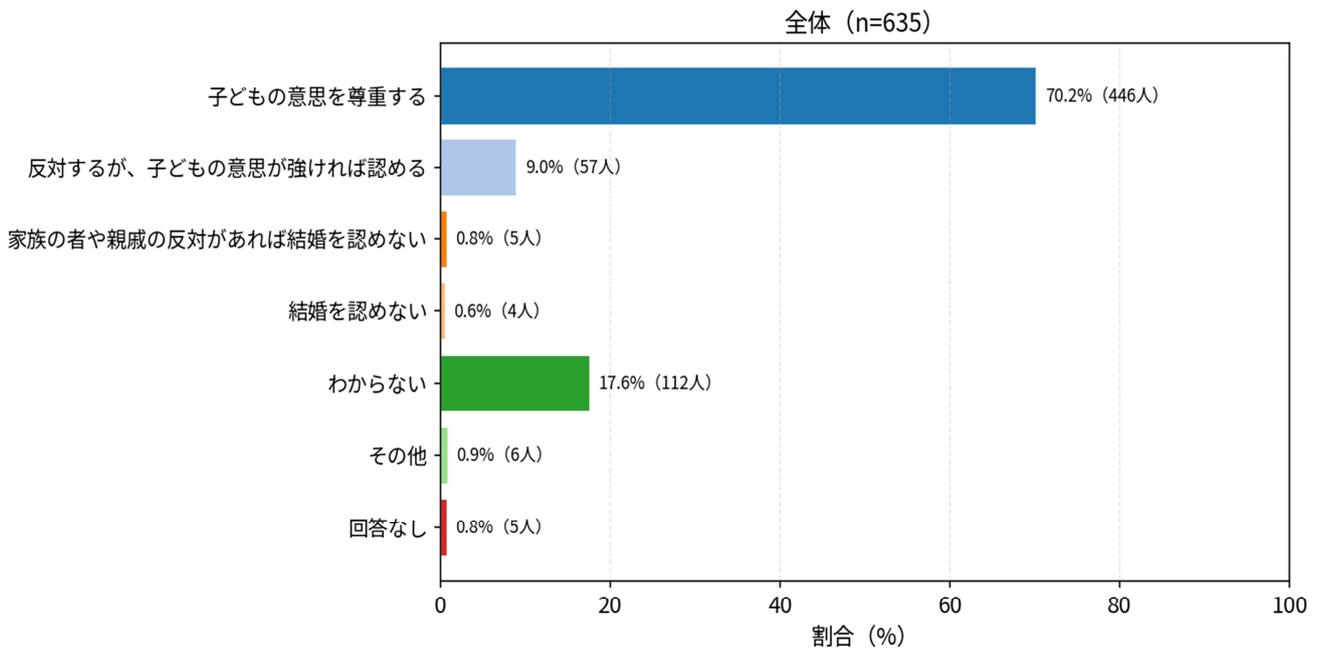
(2) かりにあなたが人を雇う場合、その人が同和地区出身の人であることがわかったとき。



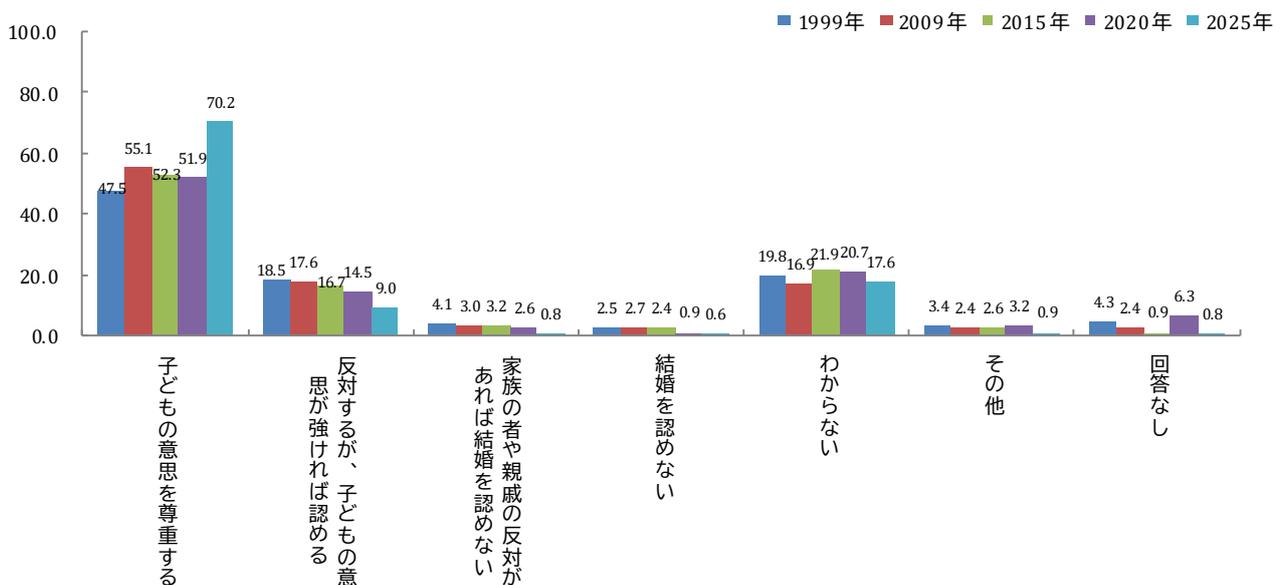
回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
同和地区出身であろうと、なかろうと気にしない	30	47	73	50	194	3	397
仕事熱心なら雇う	10	9	19	20	101	0	159
なんとかしてことわる	1	0	1	0	2	0	4
わからない	9	6	12	10	33	0	70
その他	0	0	1	0	1	0	2
回答なし	0	0	0	0	0	3	3
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635



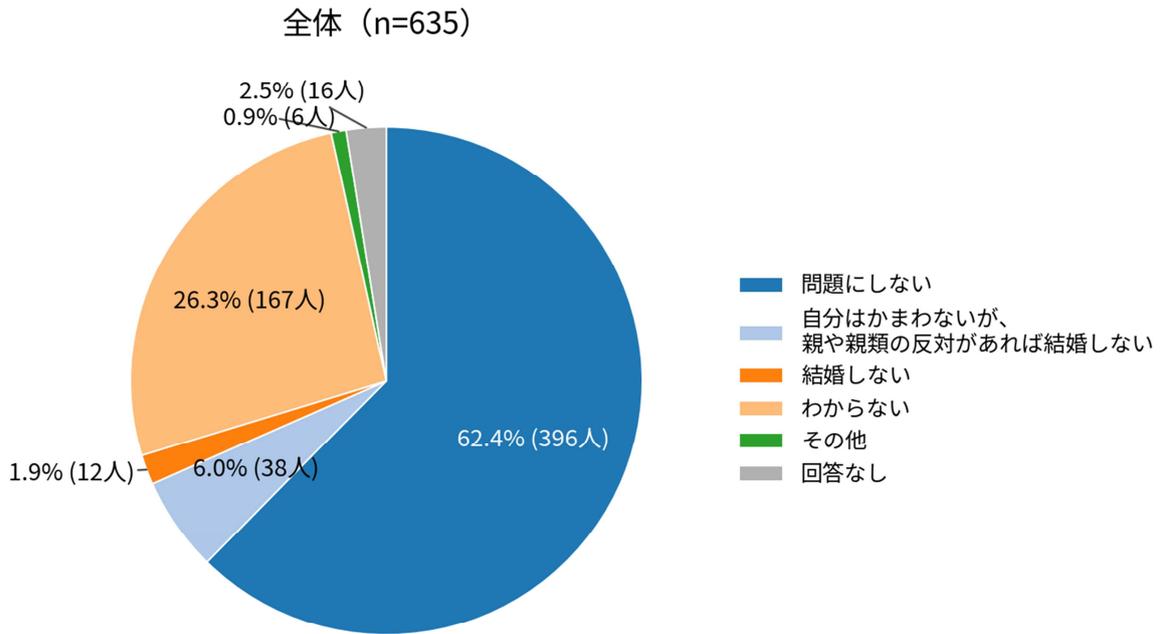
(3) かりにあなたにお子さんがいらっしやるとして、そのお子さんが同和地区出身の方と結婚したいと相談してこられたとき。



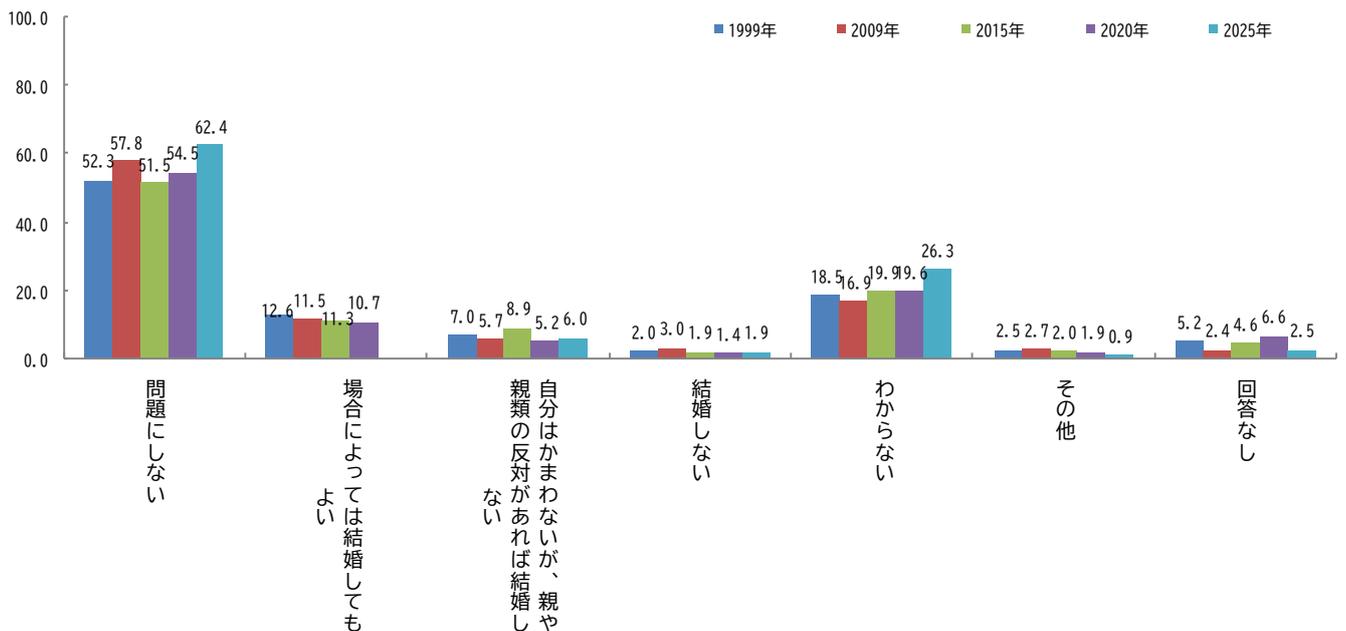
回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
子どもの意思を尊重する	35	50	76	62	222	1	446
反対するが、子どもの意思が強ければ認める	3	0	7	3	43	1	57
家族の者や親戚の反対があれば結婚を認めない	1	0	0	2	2	0	5
結婚を認めない	0	0	1	1	2	0	4
わからない	11	10	21	11	58	1	112
その他	0	2	1	1	2	0	6
回答なし	0	0	0	0	2	3	5
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635



(4) かりにあなたが結婚しようとするとき、相手が同和地区出身であるかどうかを問題にしますか。



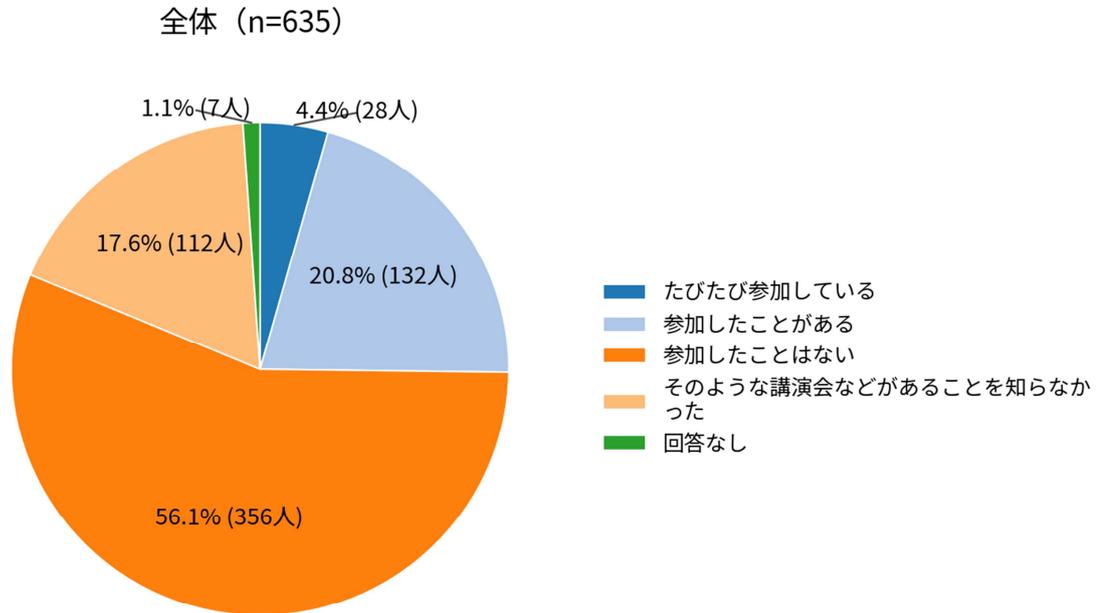
回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
問題にしない	33	50	76	57	179	1	396
自分がかまわないが、親や親類の反対があれば結婚しない	1	2	3	6	26	0	38
結婚しない	0	0	1	2	9	0	12
わからない	16	10	25	12	102	2	167
その他	0	0	0	1	5	0	6
回答なし	0	0	1	2	10	3	16
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635



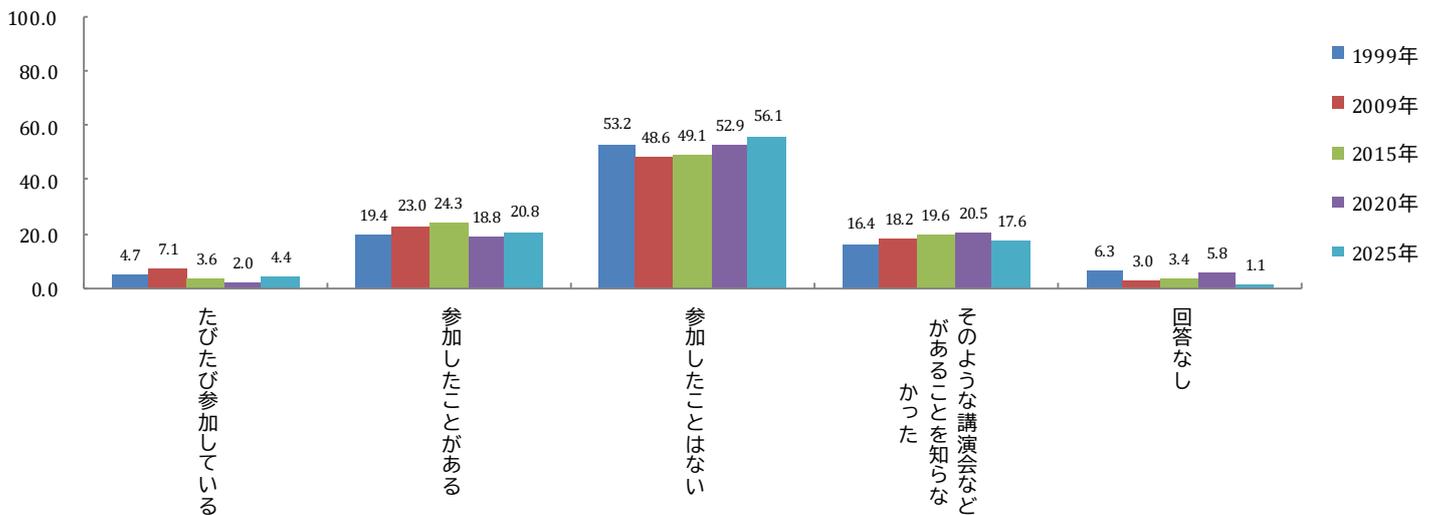
5. 社会啓発の実態

質問 15 日向市では、日向市人権・同和教育研究大会をはじめ、人権・同和問題市民講演会や人権について考える市民の集い、人権講座などを開催しています。

(1) あなたは、これらの同和問題や、女性、子ども、障がい者、外国人、性的少数者（LGBT）などさまざまな人権問題についての講演会や研修会などに参加したことがありますか。

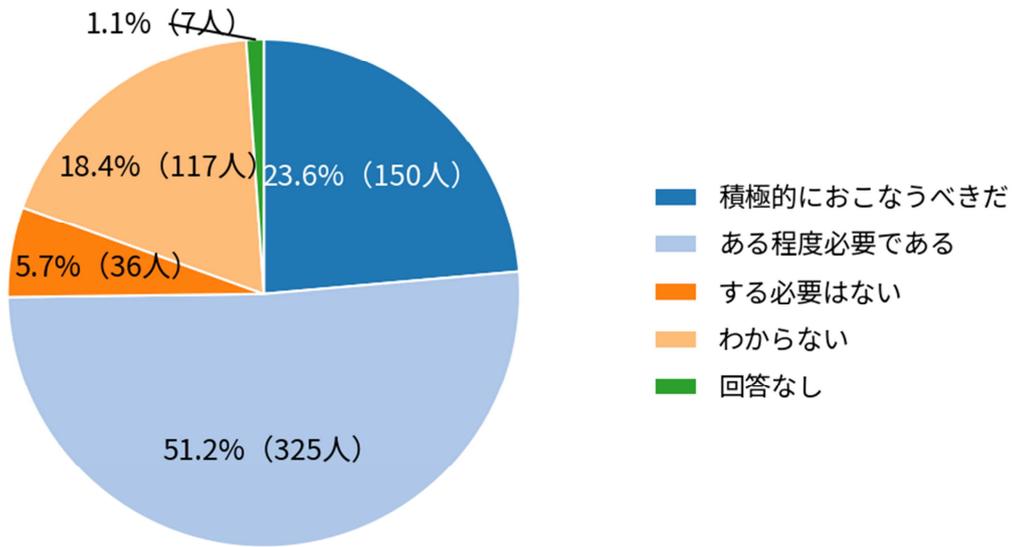


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
たびたび参加している	0	3	4	3	18	0	28
参加したことがある	7	7	21	15	82	0	132
参加したことはない	24	34	55	47	194	2	356
そのような講演会などがあることを知らなかった	19	18	25	15	34	1	112
回答なし	0	0	1	0	3	3	7
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

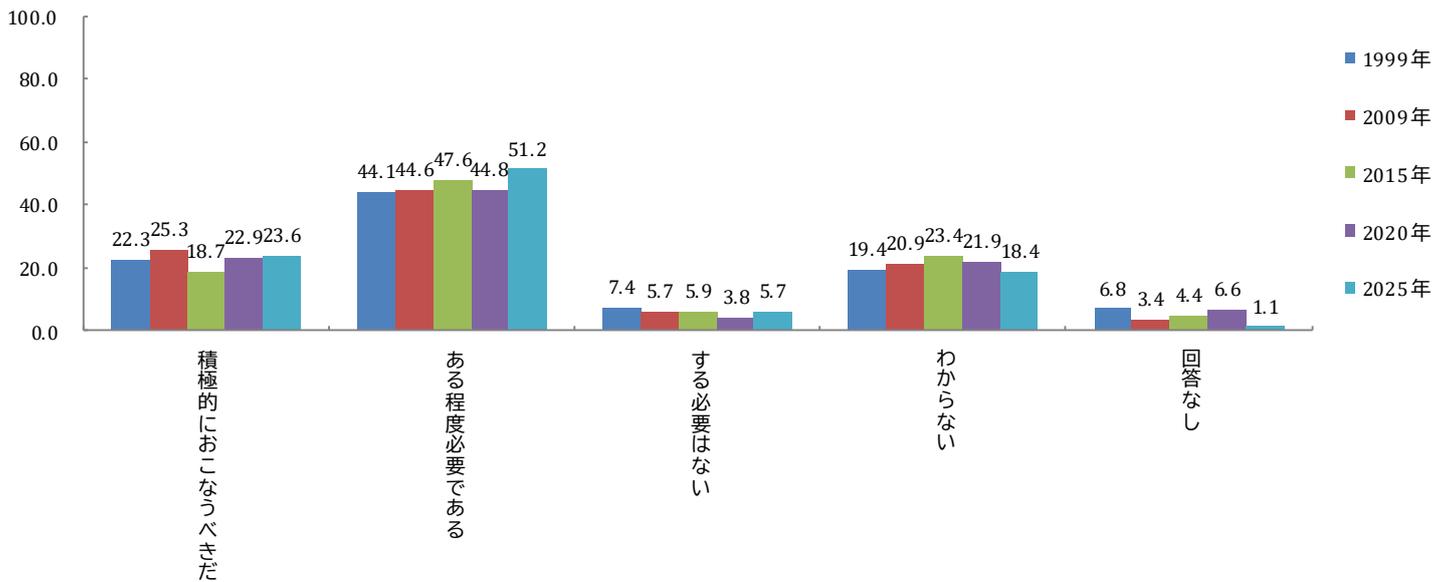


(2) あなたは、このことについてどう考えますか。

全体 (n=635)

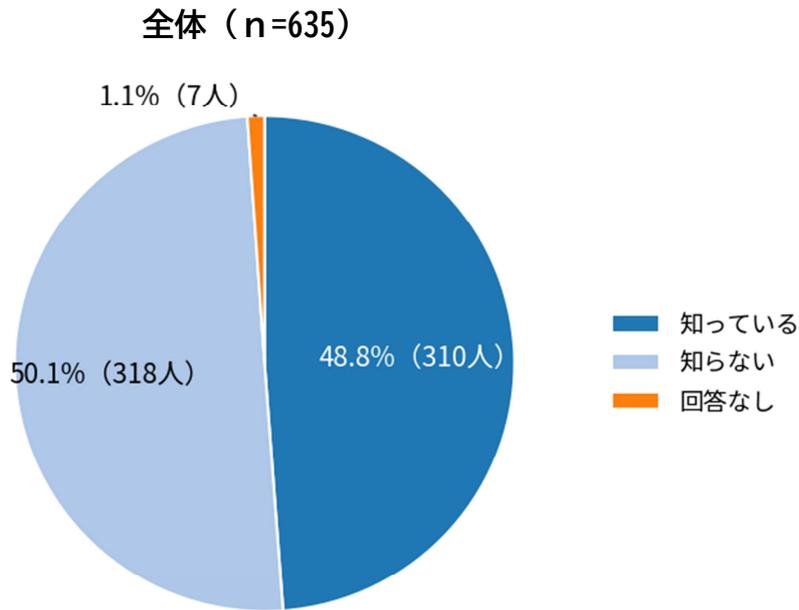


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
積極的に起こさうべきだ	15	16	35	22	61	1	150
ある程度必要である	20	29	53	36	186	1	325
する必要はない	2	4	3	3	23	1	36
わからない	13	13	14	19	58	0	117
回答なし	0	0	1	0	3	3	7
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

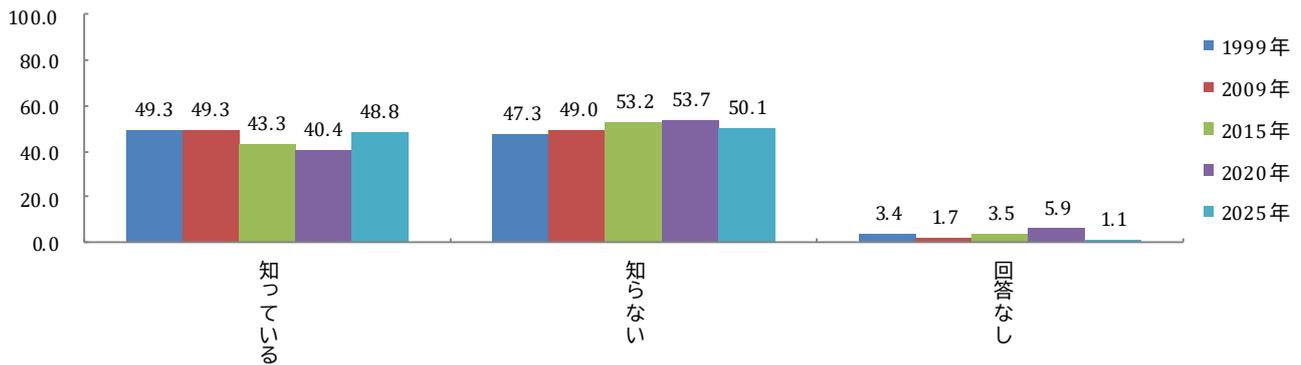


質問 16 県や日向市では、小学校、中学校、高校で人権・同和教育をおこなっています。

(1) あなたは、このことについて知っていますか。

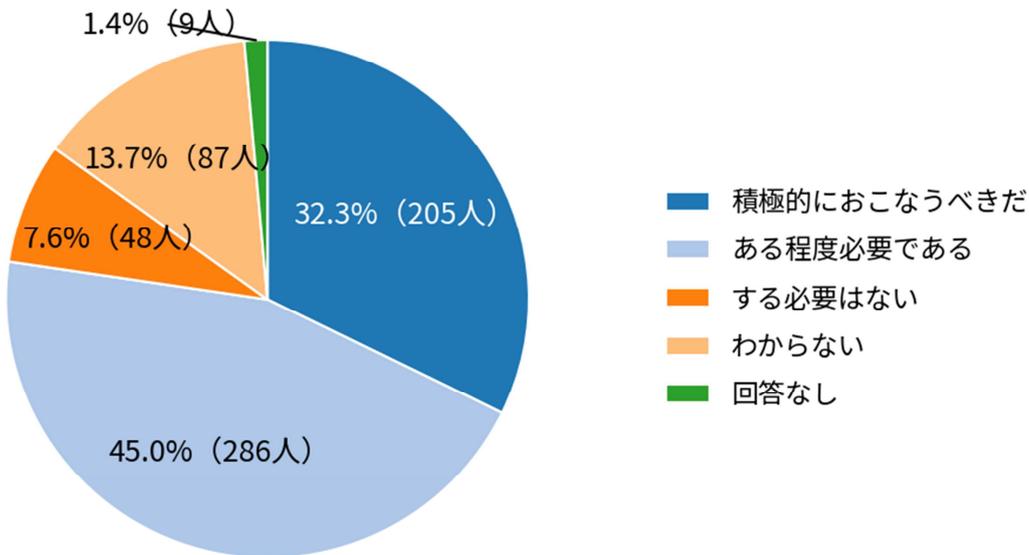


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
知っている	25	31	61	47	145	1	310
知らない	25	31	44	33	183	2	318
回答なし	0	0	1	0	3	3	7
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

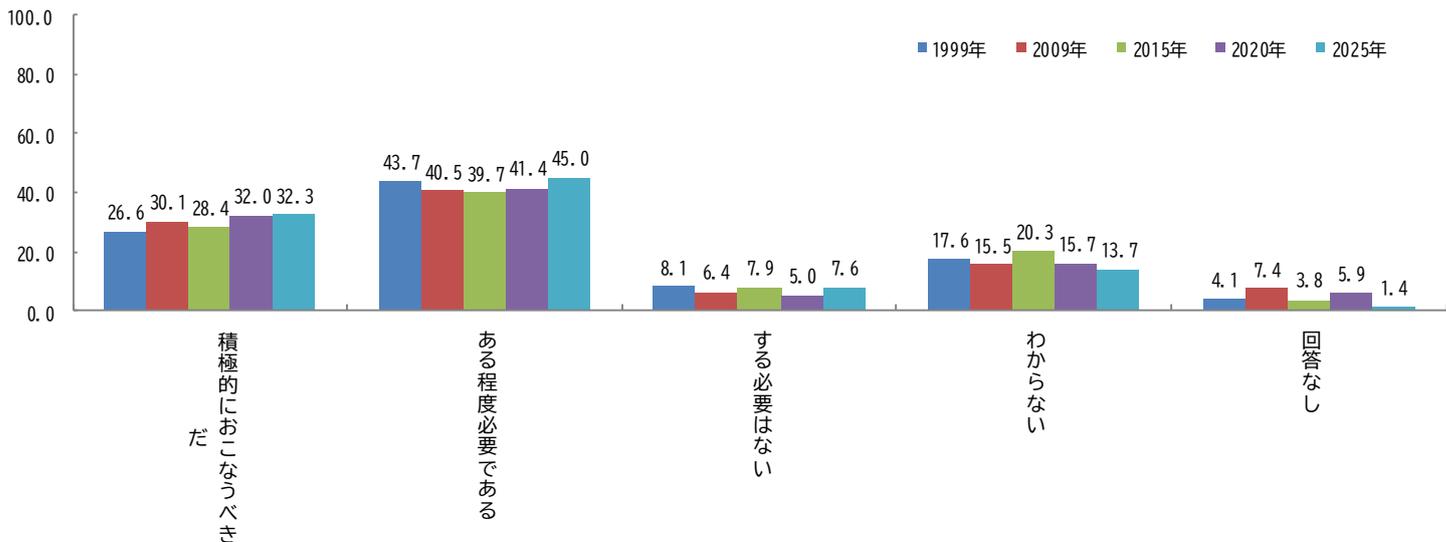


(2) あなたは、このことについてどう考えますか。

全体 (n=635)



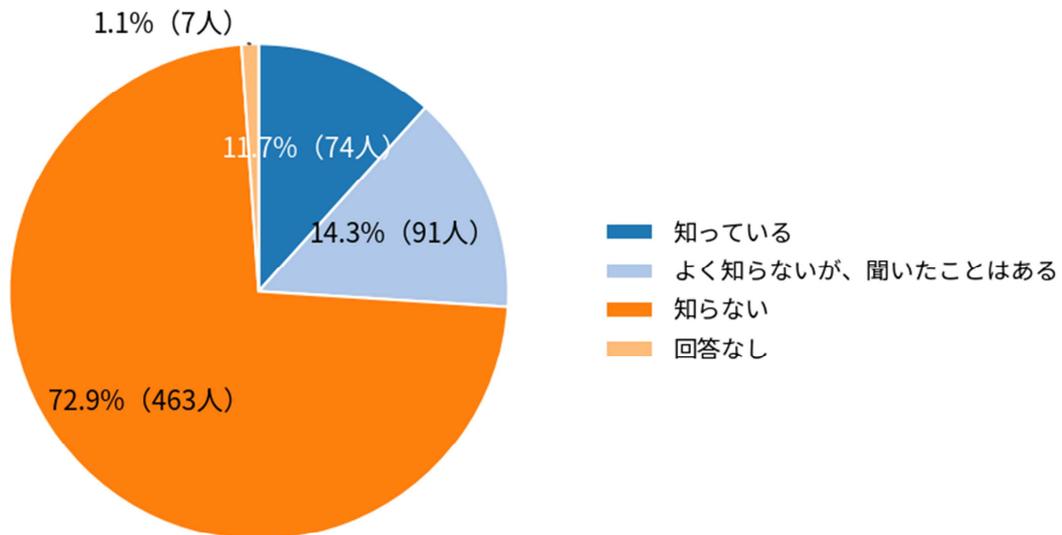
回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
積極的に起こさうべきだ	14	21	51	32	86	1	205
ある程度必要である	24	28	42	36	156	0	286
する必要はない	3	4	6	5	28	2	48
わからない	9	9	6	7	56	0	87
回答なし	0	0	1	0	5	3	9
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635



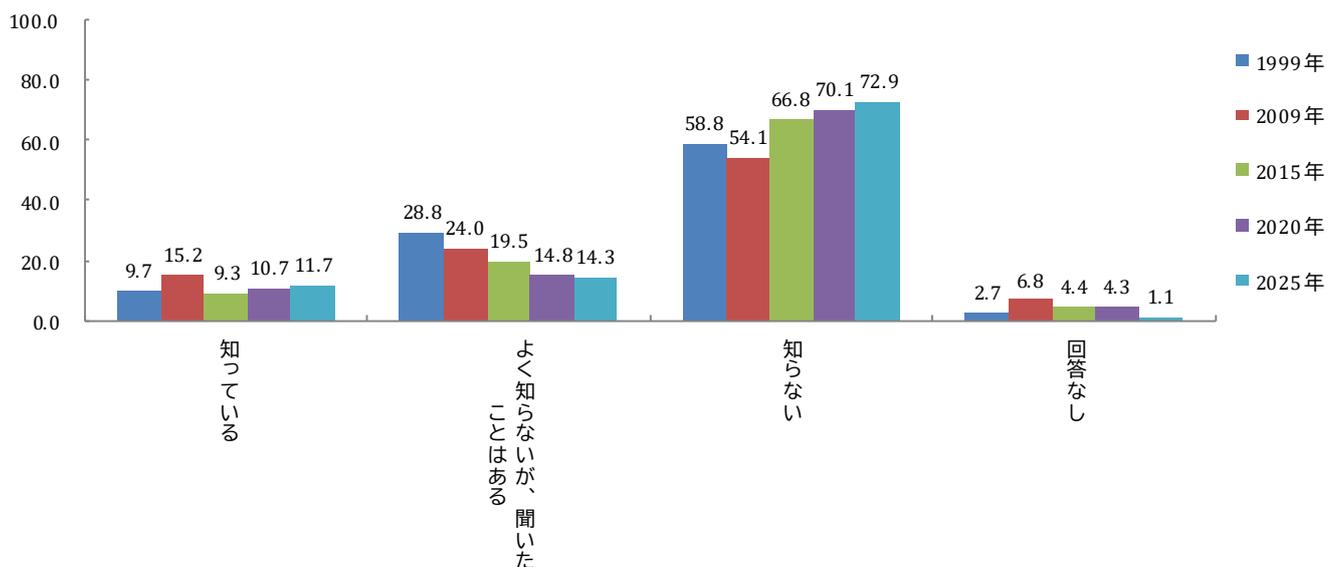
質問 17 日向市では、就職や結婚に際しておこなわれることがある「身元調査」は、人権侵害につながるため、各種団体や企業と協力して「身元調査お断り運動」をおこなっています。

(1) あなたは、このことについて知っていますか。

全体 (n=635)

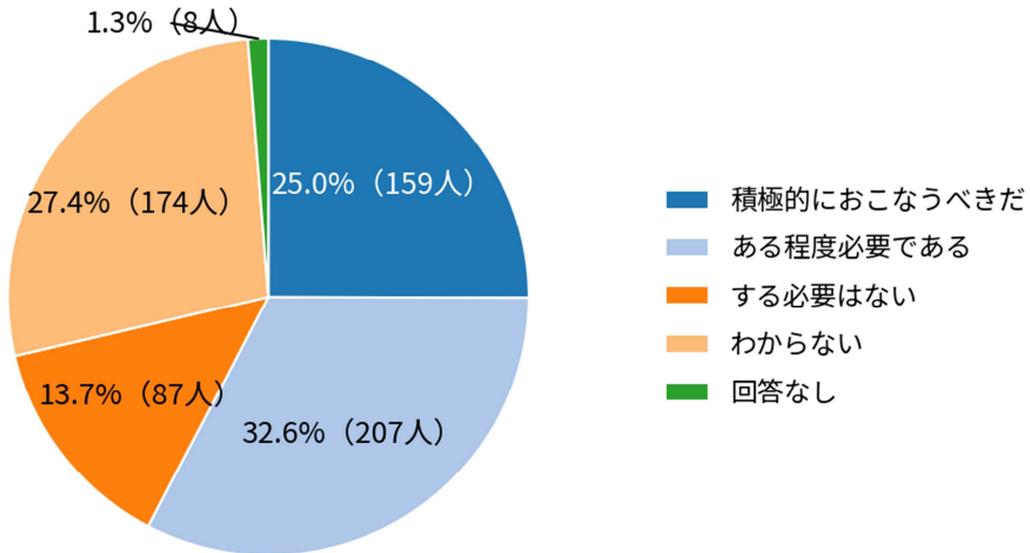


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
知っている	1	8	10	8	47	0	74
よく知らないが、聞いたことはある	7	7	9	10	58	0	91
知らない	42	47	86	62	223	3	463
回答なし	0	0	1	0	3	3	7
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

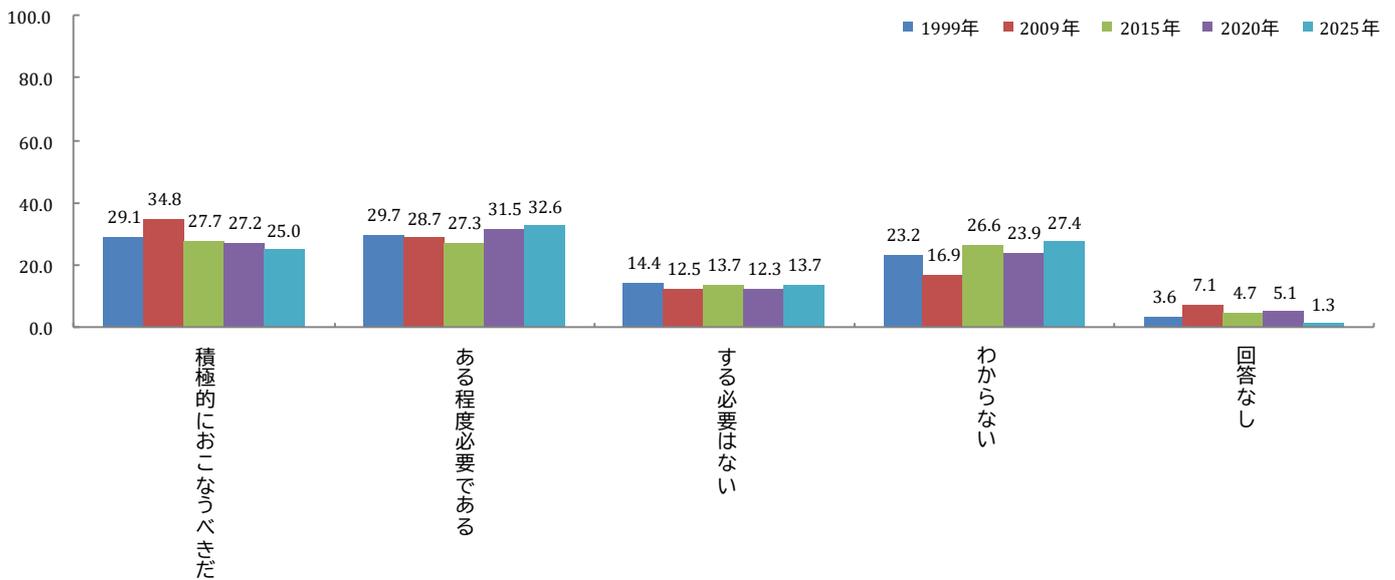


(2) あなたは、このことについてどう考えますか。

全体 (n=635)

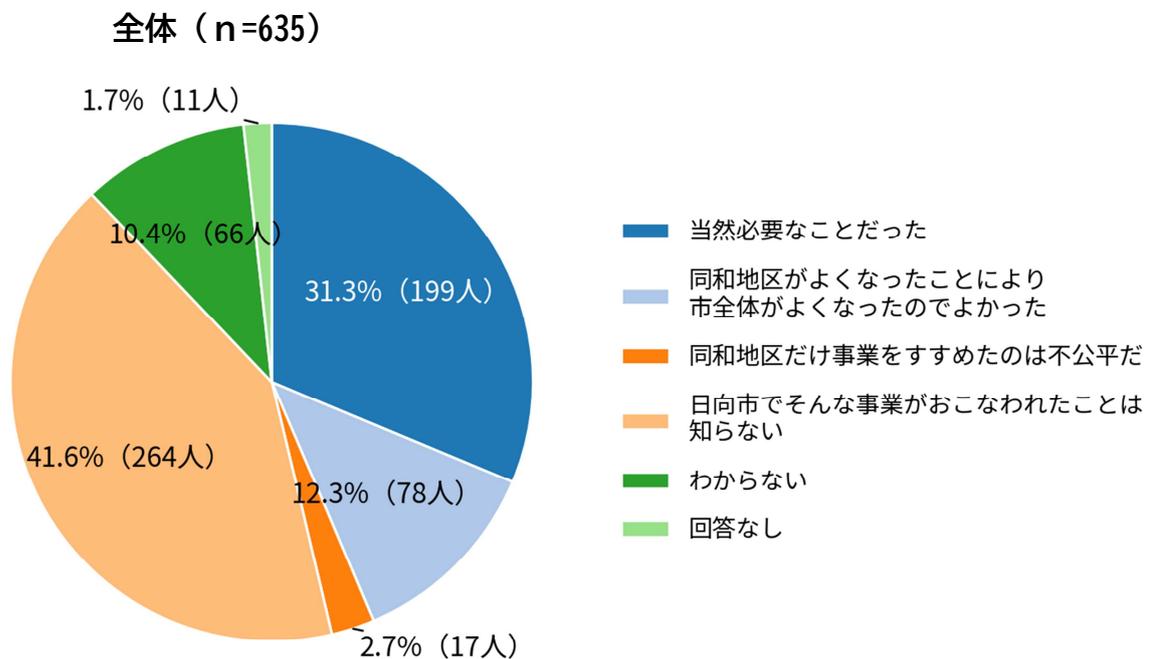


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
積極的に起こさうべきだ	12	14	27	26	79	1	159
ある程度必要である	13	24	40	24	106	0	207
する必要はない	6	7	10	8	54	2	87
わからない	19	17	28	22	88	0	174
回答なし	0	0	1	0	4	3	8
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

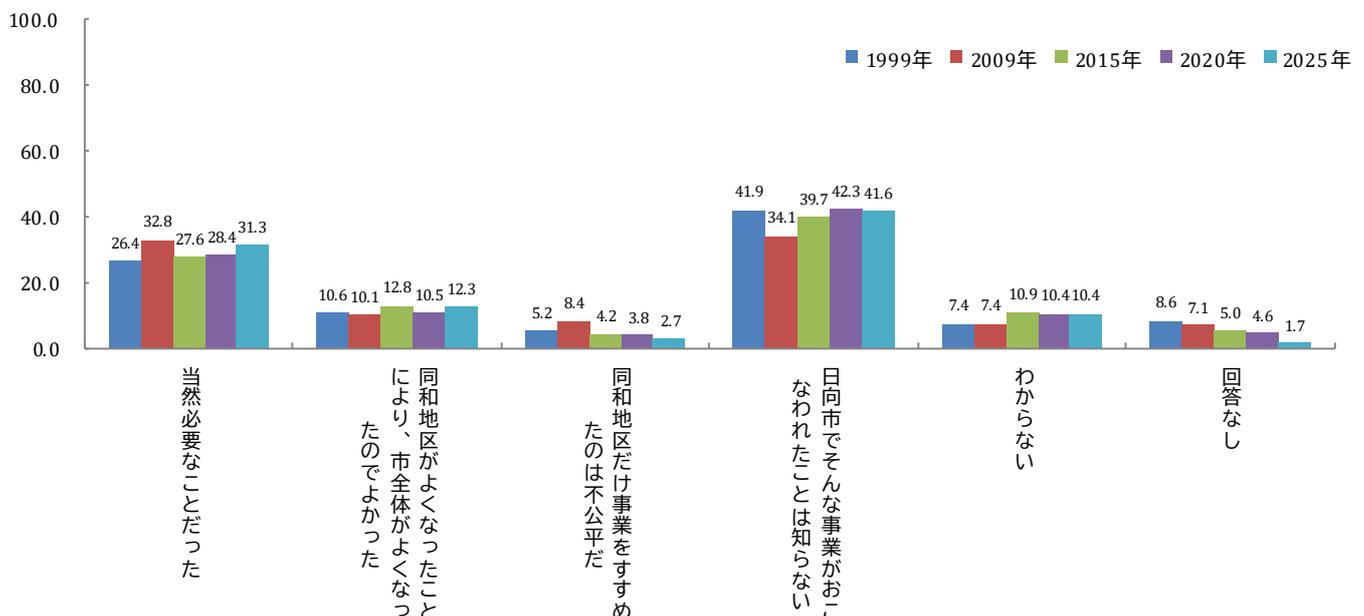


6. 同和対策事業の評価と今後の取り組み

質問 18 日向市では、国の同和対策事業により、昭和53（1978）年から昭和62（1987）年にかけて、同和地区の道路や住宅など、おくれた生活環境を改善しましたが、あなたはこのことをどう思いますか。

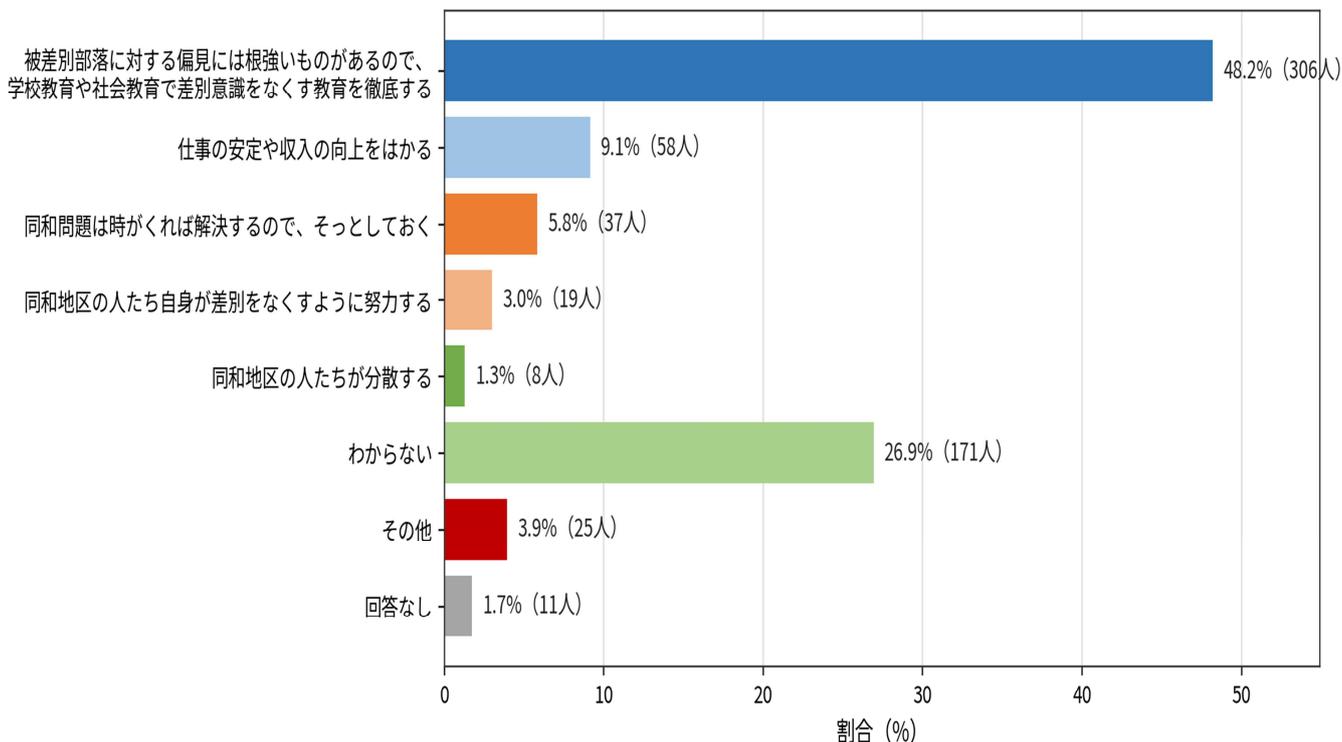


回答区分（人数）	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
当然必要なことだった	17	21	44	26	90	1	199
同和地区がよくなったことにより、市全体がよくなったのでよかった	3	6	9	10	50	0	78
同和地区だけ事業をすすめたのは不公平だ	0	1	1	1	14	0	17
日向市でそんな事業がおこなわれたことは知らない	16	26	40	37	143	2	264
わからない	14	7	12	6	27	0	66
回答なし	0	1	0	0	7	3	11
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

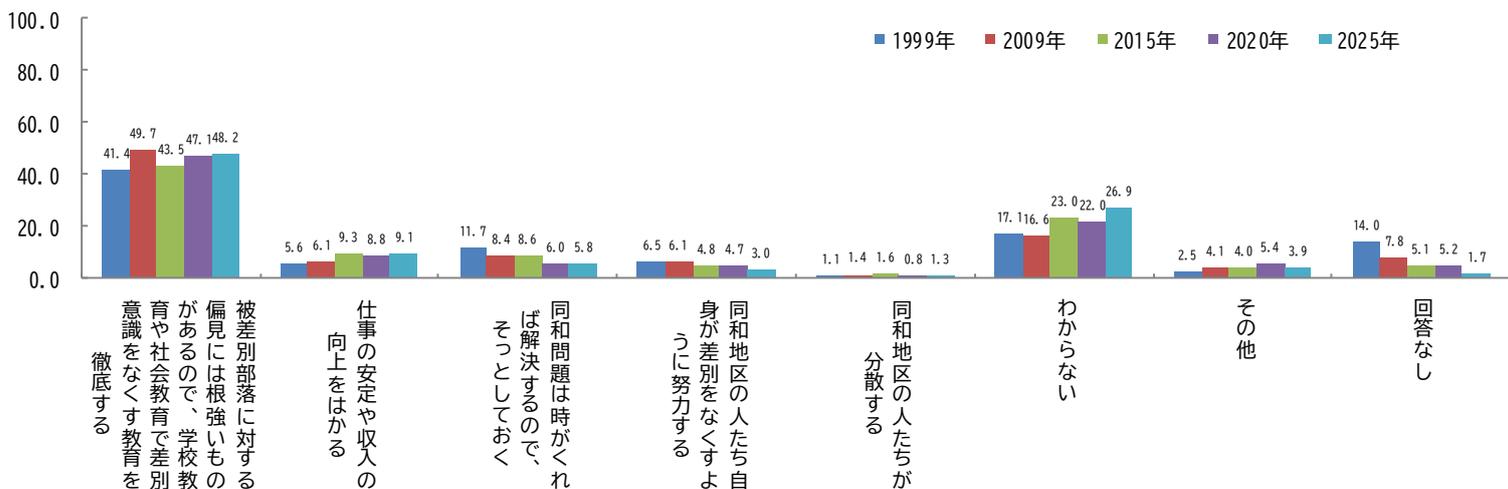


質問 19 同和問題の解決について、これからどのようにしたらよいと思いますか。

全体 (n=635)

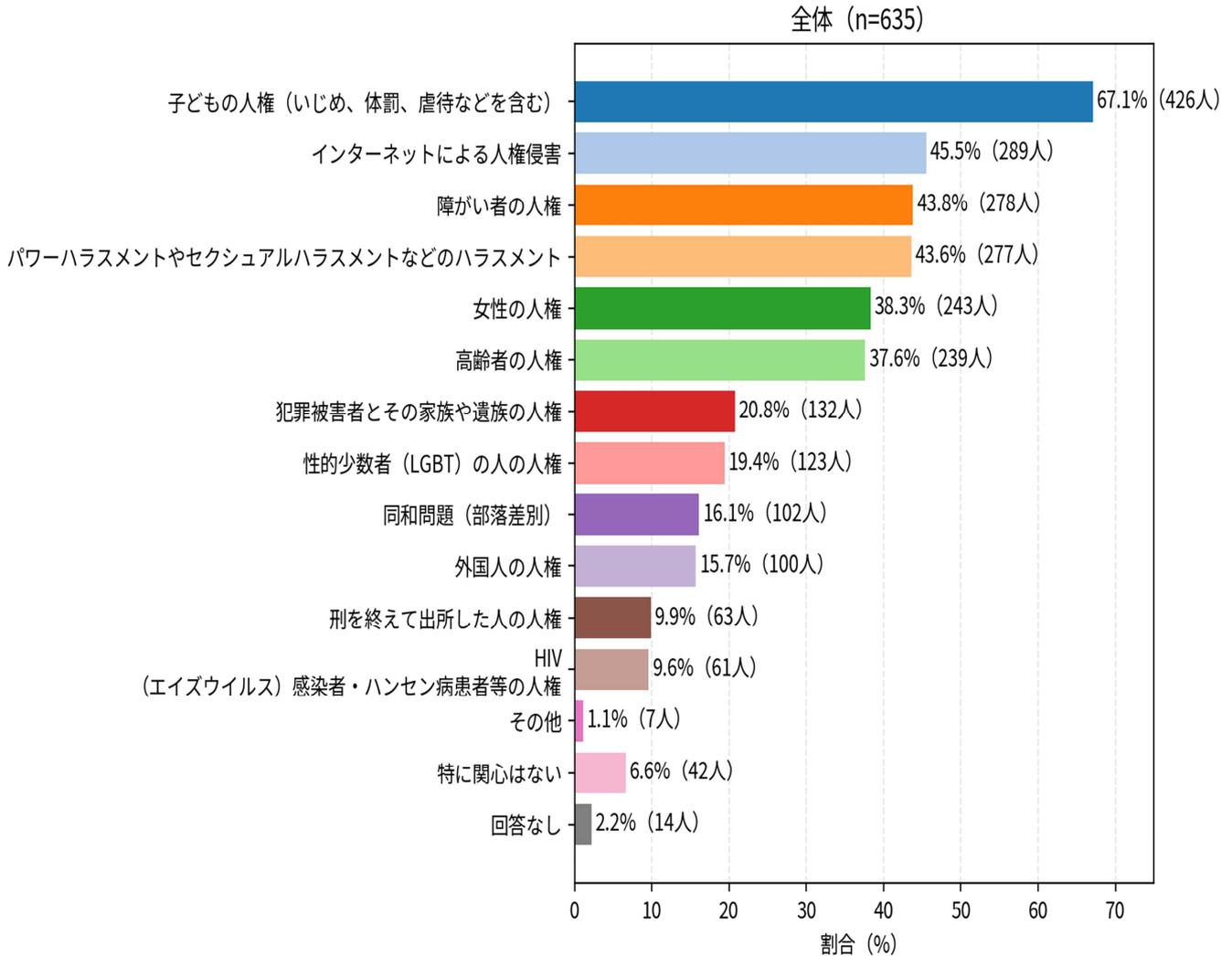


回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
被差別部落に対する偏見には根強いものがあるので、学校教育や社会教育で差別意識をなくす教育を徹底する	23	28	59	35	160	1	306
仕事の安定や収入の向上をはかる	4	5	13	8	27	1	58
同和問題は時がくれば解決するので、そっとしておく	2	7	2	3	22	1	37
同和地区の人たちが差別をなくすように努力する	0	0	0	1	18	0	19
同和地区の人たちが分散する	0	0	2	0	6	0	8
わからない	20	19	24	25	83	0	171
その他	1	3	6	8	7	0	25
回答なし	0	0	0	0	8	3	11
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635



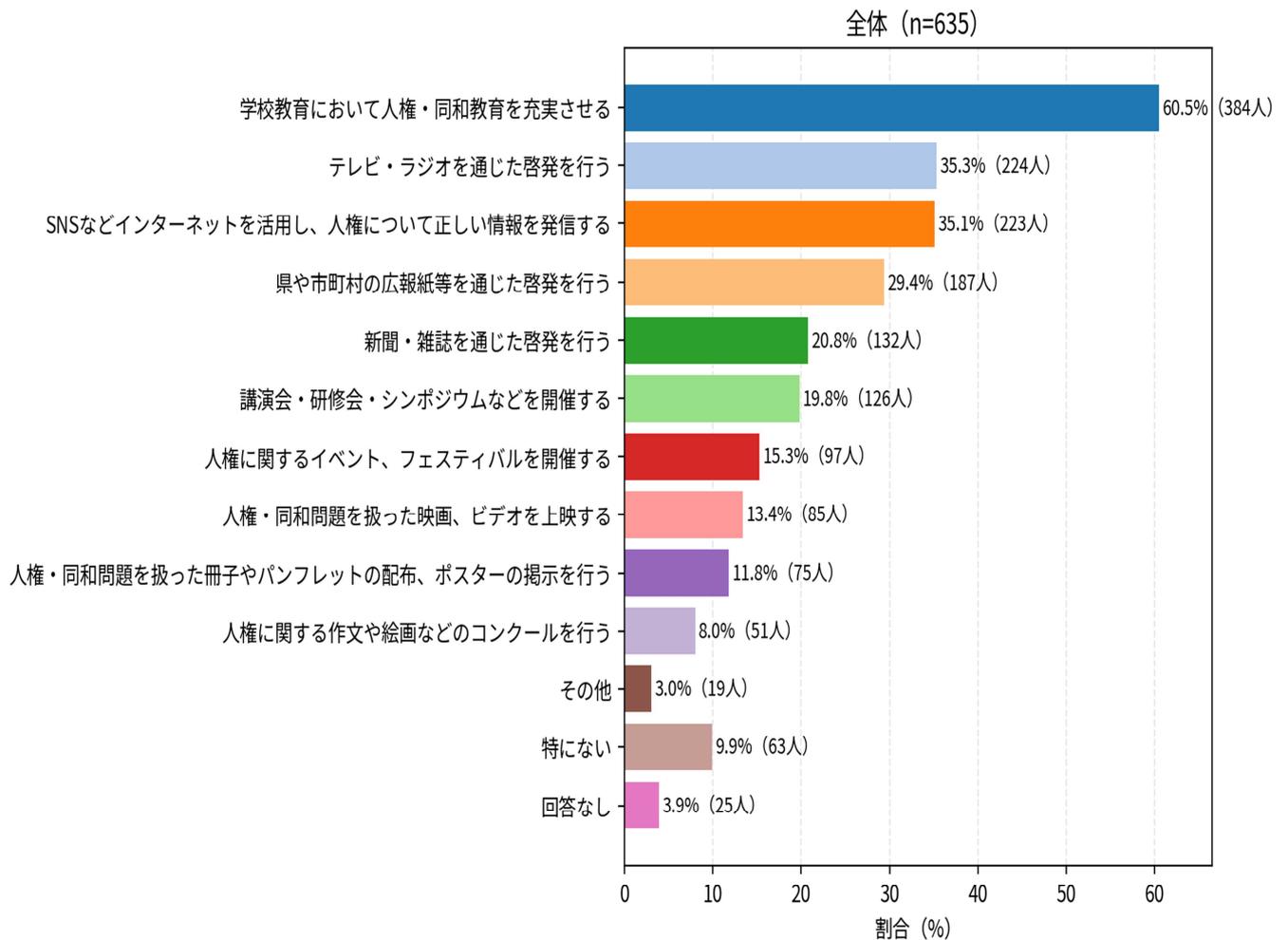
7. 今後の啓発活動について

質問 20 社会には人権に関わるさまざまな問題がありますが、現在、あなたが関心を持っているものはどの問題ですか（この質問では○はいくつでも結構です）。



回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
子どもの人権 (いじめ、体罰、虐待などを含む)	35	46	71	44	227	3	426
インターネットによる人権侵害	18	31	61	36	141	2	289
障がい者の人権	19	26	45	38	149	1	278
パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどのハラスメント	19	27	59	38	132	2	277
女性の人権	25	30	45	30	112	1	243
高齢者の人権	10	11	33	29	154	2	239
犯罪被害者とその家族や遺族の人権	6	13	21	28	62	2	132
性的少数者 (LGBT) の人の人権	11	15	34	21	41	1	123
同和問題 (部落差別)	5	10	20	12	55	0	102
外国人の人権	12	9	28	14	36	1	100
刑を終えて出所した人の人権	6	4	12	8	32	1	63
HIV (エイズウイルス) 感染者、ハンセン病患者等の人権	1	4	15	8	33	0	61
その他	0	0	1	2	4	0	7
特に関心はない	5	2	5	4	26	0	42
回答なし	0	0	2	1	8	3	14
回答者数 (n)	50	62	106	80	331	6	635

質問 21 人権尊重の意識を高める啓発手段として、どのようなものが効果があると思いますか（この質問では〇はいくつでも結構です）。



回答区分 (人数)	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	年代不明	計
学校教育において人権・同和教育を充実させる	31	39	69	50	194	1	384
テレビ・ラジオを通じた啓発を行う	12	18	36	33	124	1	224
SNSなどインターネットを活用し、人権について正しい情報を発信する	25	38	60	31	68	1	223
県や市町村の広報紙等を通じた啓発を行う	7	10	28	23	118	1	187
新聞・雑誌を通じた啓発を行う	6	10	25	18	72	1	132
講演会・研修会・シンポジウムなどを開催する	5	9	27	16	68	1	126
人権に関するイベント、フェスティバルを開催する	5	12	30	15	35	0	97
人権・同和問題を扱った映画、ビデオを上映する	3	9	16	12	45	0	85
人権・同和問題を扱った冊子やパンフレットの配布、ポスターの掲示を行う	5	5	13	13	39	0	75
人権に関する作文や絵画などのコンクールを行う	4	3	12	11	21	0	51
その他	2	2	6	3	5	1	19
特になし	6	6	10	7	33	1	63
回答なし	0	1	1	2	18	3	25
回答者数(n)	50	62	106	80	331	6	635

8. 自由意見（全体の傾向と意見例）

■ 同和問題に関すること

- ・「知らなかった／身近に感じない」という声と、「結婚差別等の実態が今もある」とする声が併存している。
- ・学校・研修等で学ぶ必要性を挙げる意見がある一方、啓発が逆に差別意識を生むことへの懸念も多い。
- ・団体活動や助成への不信・反発、逆差別の懸念など、制度の説明不足を示唆する意見も見られる。
- ・地域特定につながる関心が生じ得るため、扱い方（個人情報・地域情報の配慮）の工夫を求める示唆がある。

【意見例（原文を抜粋）】

- ・同和問題などたまたま研修で知ったが自分に関わることも身近に感じていなかったが、このアンケートにより改めて考える機会になりました。人間て勝手なもので自分の身に振りかからないとわからないのでいろいろな講演や学習などで取り組むと良いと思います。
- ・我が子には全ての方と平等に接するように育児をして来た。敢えて部落とか同和問題を教えた事はない。何度も言うが遙か昔の事を殊更に難しくする必要はないと思っている。逆に同和により国や市に助成して貰う事の方が自ら問題を根強くしているようにさえ思う。
- ・私が小学校の時は、さかんに話題が有りましたが、この近年あまり聞かなくなりました。昔よりだいぶ良くなったのではないかな？ながくむつかしい問題で中々なくなる事はないでしょう？これからもみんなで考えていかなければならないでしょう。これからも永遠の課題です。

■ インターネットによる人権侵害に関すること

- ・SNS等での誹謗中傷・拡散、匿名による差別発言の増加を懸念する意見がある。
- ・規制強化を求める声がある一方、学校教育でのメディアリテラシー強化を重視する声もある。
- ・啓発そのものも SNS等の媒体を活用すべき、という提案が見られる。

【意見例（原文を抜粋）】

- ・今ではネット環境が優れていてそこからの発信が主流になっているが、学校教育から進んで人権問題などを取り上げて行った方が良いと思う。何かあってからじゃ遅いので早めに行動や考え直した方が良い。
- ・同和問題にかかわらず、他人への誹謗中傷は永遠の課題ですね。いつも無関心なのに、自分にとっておもしろい事、他人の不幸事とかには、敏感なのではないでしょうか？田舎もなかなか平和ではないと感じます。
- ・インターネット普及に伴い匿名での人権差別発言等が増えている世の中なので表現の自由はあれど人権問題への発言等はインターネットでも規制すべきではないかと考える。
- ・うわさもそうであるが、よくわからないまま、SNS等で拡さん（正義感からか？）する風潮が一向に収まらないことが、人権問題を複雑なものにしているような感がある。

■ 障がい者に関すること

- ・発達障がい等への理解不足により、当事者や家族が傷つく状況を懸念する声がある。
- ・偏見を減らすため、正しい知識の普及や配慮の促進を求める意見がある。

【意見例（原文を抜粋）】

・精神障害、身体障害など障害者は障害をもって日々生活することだけでも大変な思いをしています。手をさしのべて欲しいですがなかなか勇気のいることで、できない事が多いと思います。せめて、弱みにつけ込んだり好奇心な目でみたり、つまはじきしないで欲しいと思います。

■ 外国人に関すること

- ・外国人増加に伴う不安（治安・マナー等）や支援の公平感への疑問を述べる声がある。
- ・受入れ拡大が新たな差別を生む懸念から、慎重さを求める意見も見られる。

【意見例（原文を抜粋）】

・外国人移民を増やすことは、新たな外国人差別の問題を増やすことにつながるので、慎重に行うことが大事である。

・外国人差別にしても、制度や政策の不備や失敗を棚に上げて外国人のせいにする風潮がとても残念である。外国人の力を借りなければ立ち行かなくなっている日本の現状を直視し、理解しなければならないと思う。

■ 性的少数者に関すること

- ・当事者が安心して話せる環境づくり、理解促進の必要性を挙げる声がある。
- ・一方で、発信のされ方が過度に感じられるという受け止めも一部にある。

【意見例（原文を抜粋）】

・同和問題を学校等で習いましたが、その地区等が本当にあるのかどうか分からなく、なんとなく授業うけてましたが、今生きてる中で、そのような差別を見受ける事がないので真剣には考えていません。これが普通なのだと思います。また最近ではLGBTをよく耳にします。親子で悩み考えますが、堂々と言える環境、理解しあえる仲間環境ができればいいと思います。普通に言葉で表して恥ずかしくない心強さを持てる授業、講演をしてけると嬉しいのでは？と思います。

■ その他の人権問題、人権全般に関すること

- ・職場のパワハラ等、日常で直面する人権侵害（暴言、退職強要、ハラスメント）を訴える意見がある。
- ・行政に対し、実態把握（匿名調査）や事業所への指導、相談の周知を求める声がある。
- ・税金の使途・財政運営、市民サービスの優先順位など、市政運営を人権の観点で捉える意見がある。
- ・地域の噂・詮索などプライバシー侵害への問題意識も見られる。
- ・「人は皆平等」「相手を尊重する」など、理念・日常の心がけを重視する意見が多い。
- ・差別の背景として知識不足・無関心を挙げ、学び続けることが大切という声がある。
- ・一方で、特定テーマの強調が分断や不公平感を生むという懸念も示される。

【意見例（原文を抜粋）】

・職種によってあまりにも給与に差がありすぎる。福祉関係の仕事はもっと評価されるべき。現場を知っている人達で色んな事を決めてほしい。生活の不安は解消されません。

・同和問題を知っている人は余りいないと思います。それを、わざわざ、問題とするのは良い事では無い様に思います。人権問題は無くならないと思います。自分の都合で人を落としいれたり、うそと言う人たちが居るかぎりはいじめ、差別は無くならない様に思われます。

・人権問題を取り扱う場合は慎重に多方面から行うべきだと思う。人権問題の解決を急いだり強引に解決しようとする逆差別を招く恐れがあるかと思う。また、マイノリティの人々を大事にしすぎるとマジョリティの人々が不公平を感じるのでバランスが大事だと思う。

・人権はある程度守られているのではないのでしょうか。だけど子供の教育は大事なことだと思います、こんなことは人権侵害でそのようなことをすることは間違いだ、といった学びは教育でしかできないことなので子供たちに学べる環境を作っていただきたいです。

・同和問題は自分にとって難しい問題です。今自分が一番に思うのは男女平等社会です。以前に比べるとよくなったとは思いますが、家庭での不平等を思います。日向はまだまだ男尊女卑を目にします。

・職場では「パワハラ」や「セクハラ」の防止に取り組む強化月間があります。また、川柳を募集して、入賞した作品はカレンダーになり配布されるので、掲示しています。「傍観は加担と一緒に」、職場学習会の講演の中にあつた言葉です。確かに・・・胸に刺さりました「見逃さない、聞き流さない」私にできることだと思いました。6月の吉田恵里香さんの講演とても良かったです。やはり、学校での教育が大事だと思います。

・80代になって初めてのアンケートで考えても見なかったのがビックリです。小さい頃は部落の差別とハンセン病の人の事は知っていましたが、人権問題を解決するために少しでも手助けができるように、もう少し若かったら良かったのですが申しわけありません

・困り感を持つ子ども達のサポートする人員増を願う。専用スタッフの育成指導もほしい。認知症老人の居場所作り、積極的に取りくんでほしい。住みやすい市に、誰もが無感心でなく、一般市民への啓発活動を願う。

・これまで同和地区などについて考えたことがありませんでした。出身の町であまり話題になることがなかったように思います。今は障害の方、高齢者の方が自分の意思が尊重されるといいと考えています。

Ⅲ. 今後の施策

本調査では、日向市が「人権が尊重されるまち」になっていると感じる層が一定数いる一方で、「わからない」や中立回答も比較的多く、実感や情報接触の差がうかがえる。加えて、同和問題の認知や市の取組（身元調査お断り運動、過去の同和对策事業等）については「知らない」が多く、施策情報が届いていない層が相当程度存在することがうかがえる。

人権侵害を経験した人の多くが「黙って我慢」しており、行政・専門機関への相談がごく少ないことから、相談体制の利用されやすさと周知が課題であり、関係機関・関係団体とさらに連携強化を図る必要がある。

関心の高い人権課題として、「子どもの人権」「インターネットによる人権侵害」「障がい者の人権」「各種ハラスメント」「女性の人権」などが挙げられる。同和問題については知った時期が「19歳からあと」が多いことから、学校教育だけでなく、社会教育・職場研修を中心とした成人層への継続的な啓発の取組が求められる。

効果的な啓発として、「学校教育の充実」「テレビ・ラジオ」「SNS等」が上位に挙げられており、広報紙やSNS等を組み合わせた情報発信を行い、市の取組について広く周知を図る必要がある。

男女の社会的地位については「不平等」と感じている人が「平等」と感じている人を上回っているため、職場や地域での男女共同参画の取組をさらに進めていくことが求められる。

これらの状況を踏まえ、差別のないまちづくりを目指して「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」及び「日向市人権教育・啓発方針」に基づき、関係機関・関係団体と連携しながら、学校教育や社会教育、啓発活動、相談体制の充実・強化を図っていく。